

# せとのおさ

設立50周年記念号



平成28年度「家庭の日」に関する図画 特選作品  
「ザリガニとったどー」東広島市立小谷小学校 2年 谷本 遼



公益社団法人 青少年育成広島県民会議

# 青少年育成の基本指針

## 前 文

「青少年は日本の希望である」という言葉は、われわれの心を支えている標語である。ところが、青少年の非行が問題になると、明確な実施効果の見定めもつかぬままに、条例や法律の制定に期待の高まるのが実状である。しかし、青少年の非行が大人の生活の反映であるとすれば、青少年の健全育成は、大人の反省なしには実現しないであろう。大人がかつて青少年であったように、青少年はやがて大人になるのである。人間の生涯は、多様な価値観の個性的選択による自己教育の連続であるといえよう。

ここに制定された青少年育成の基本指針は、ただ青少年育成のあり方を抽象的に示したものに過ぎない。それは、各地域の実状に応じて具体化されることが期待される。総括的にいえば、資源の乏しさを克服して、相当高い生活水準に到達している現代日本において、青少年は将来どのような展望をもって進んだらよいか、これが最大の課題である。

われわれは、青少年の前途に幸福の「青い鳥」の夢を託したい。

## 青少年育成の基本指針

### (個人)

一 個性の独自性に対する自覚にもとづき、その価値可能性を錬磨し、生涯教育の基礎をつくる。

### (社会)

一 家庭の愛情にはぐくまれ、社会生活において、友情と連帯の意識を養う。

### (自然)

一 国土の自然を愛護するとともに、地域社会の文化を尊重し、環境の教育的整備につとめる。

### (世界)

一 諸民族の生活と文化を理解し、平和と親善の心をこめて、国際交流に寄与する。

### (総括)

一 日々の生活のなかに、生きがいを求めてわが道を行き、一隅を照らす光となる。

# せとのあさ

設立 50 周年記念号



## 目次

### 50周年記念特集

- 3 挨拶／会長 上田 宗岡
- 4 祝辞／広島県知事 湯崎 英彦 氏
- 5 (公社)青少年育成広島県民会議設立50年のあゆみ
- 21 青少年育成とらい・やる21事業
- 22 夢配達人プロジェクト推進事業
- 25 市区町民会議活動紹介
- 33 公益社団法人 青少年育成広島県民会議の概要

### 平成28年度事業実施報告

- 35 第28回 定時総会
- 37 平成28年度青少年育成県民運動推進大会・設立50周年記念大会
  - <青少年活動発表Ⅰ> 青少年育成とらい・やる21事業  
東広島市立西条中学校 組曲「西條」(P39)
  - <青少年活動発表Ⅱ> 夢配達人プロジェクト推進事業  
北広島町立大朝小学校 「大朝を舞台にしたドラマを作りたい」(P40)
  - <少年の主張意見発表>  
「語る思いと聞く思い」 広島市立国泰寺中学校3年 藤井 志穂さん  
(P40)
  - <記念演奏会>魚住りえ&魚住恵 リーディングコンサート  
(P41)
- 42 あいさつ・声かけ運動 街頭啓発キャンペーン
- 43 「少年の主張」・中学生話し方大会2016  
第38回少年の主張広島県大会 第50回中学生話し方大会  
「戦争を知ること」 広島市立二葉中学校2年 牟田 悠一郎さん
- 45 ひろしまドリームプロジェクト
- 46 青少年育成カレッジ「総合講座」
- 49 発行によせて



## ご挨拶

公益社団法人青少年育成広島県民会議  
会長 上田 宗 岡



青少年育成広島県民会議設立 50 周年にあたり、ご挨拶を申し上げます。

昭和 41 年 12 月 7 日に開催された青少年育成広島県民会議結成大会において大会宣言を行い、県民総ぐるみの青少年育成運動がスタートしました。その後、平成 2 年 10 月 1 日に法人格を取得し「社団法人」となり、また、平成 23 年 4 月 1 日には公益社団法人に認定され、現在に至っております。

本年 10 月 29 日には平成 28 年度青少年育成県民運動推進大会を県民会議設立 50 周年記念大会として、多数の方々のご来場により盛大に開催することができました。

設立から半世紀もの間、活動を継続できましたのも、県民の皆様のご支援、ご協力があったからこそ、心から感謝しております。

青少年非行がピークであった設立当初、私たちは、「家庭の日運動」や「あいさつ・声かけ運動」の推進に取り組むとともに、シンナーの乱用防止、俗悪な広告の追放に取り組みました。その後、社会の生活様式の変化により、インターネットやスマートフォンの使用による被害や薬物等の依存の問題など青少年を取巻く環境も多様化し、取組もそれらに対応するため拡充してまいり、日本屈指の青少年育成県民会議と言われております。

50 周年という節目を迎え、昭和 52 年に制定しました「青少年育成の基本指針」にございます「日々の生活のなかに、生きがいを求めてわが道を行き、一隅を照らす光となる。」を今日も指針の中核と捉えております。

次代を担う子供たちが夢を持ち、健やかに成長し、未来社会の形成者としての自覚を持ち、社会的に自立した個人として役割と責任を果たしていくための環境づくりは私たち大人の責務です。青少年が安心して健全に成長するためには、家庭・学校・地域が連携し、一体となって取り組むことが必要です。

青少年育成広島県民会議は、人と人とのコミュニケーションの第一歩である「あいさつ・声かけ運動」を基軸に置きながら、県民総ぐるみ運動の更なる展開を図ってまいります。

県民の皆様には引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 祝 辞

広島県知事  
湯崎 英彦



公益社団法人青少年育成広島県民会議におかれましては、昭和41年の設立以来、50年という記念すべき節目を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

また、県民会議の皆様には、この半世紀もの長きにわたり、青少年育成県民運動の推進に活発な活動を展開され、運動の中心となって、本県の青少年の健全育成に多大なる御尽力を賜っておりますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

さて、次代を担う青少年が、夢や希望を豊かに育み、心身ともに健やかに成長していくことは、私たち県民すべての願いです。

しかしながら、現在の青少年を取り巻く状況を見ますと、インターネットの有害サイトにより、子供たちが巻き込まれる事件が後を絶たず、更には、非行の低年齢化をはじめ、不登校、ひきこもり、いじめなどの問題が深刻な状況にあるなど、解決すべき課題が多く存在しております。

このような状況にあっては、これまで以上に、家庭や学校、地域、関係機関が一体となって青少年の健やかな成長を支えていく仕組みづくりが求められております。

このため、県といたしましても、第2次「広島県子ども・若者計画」において、不登校や引きこもりなど社会生活を円滑に営む上での困難を有する子供や若者の支援と、子供・若者の自立に向けた様々な主体の連携による支援ネットワークの充実に取り組むなど、様々な施策を推進しているところでございます。

こうした中、皆様におかれましては、あいさつ・声かけ運動を始めとする子供たちの成長の基礎を育み、社会全体で守り育てる取組を推進いただくとともに、時代のニーズに対応した指導者の養成にも取り組んでいただいているところでございます。

この50周年を機に、今後とも、地域ぐるみの青少年育成活動の推進により一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、公益社団法人青少年育成広島県民会議の今後ますますの御発展と皆様の御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

# (公社)青少年育成広島県民会議設立50年のあゆみ

## 昭和41年度

### 県民会議発足前の動き

- 青少年育成国民会議結成準備委員会を東京で開催（昭和41年3月23日）
- 「青少年育成国民会議結成大会」を東京で開催
- 広島県青少年問題協議会幹事会で、青少年育成広島県民会議の必要性を強調
- 広島県青少年問題協議会において青少年育成広島県民会議を結成することが申し合わされ、委員数名が世話人となって青少年育成広島県民会議結成の準備にあたることを決定
- 青少年育成広島県民会議の発起人会が開催され、102人が出席し準備委員会を設置
- 青少年育成広島県民会議準備委員会を開催し、役員候補及び結成大会の日程等を審議

### 青少年育成広島県民会議結成

- 結成大会を広島市内において盛大に開催

大会は県内の青少年団体、グループ代表、青少年育成団体代表、経済界や学識経験者など多数が参集し、会長に広島大学名誉教授 皇 至道 氏を選任



すめらぎ しどう 会長

この結成にともない、学識経験者、財界有力者など個人131名、青少年団体10団体、育成団体63団体、マスコミ関係団体15団体、公共団体、その他54団体、市、郡の単位で組織している諸団体が参加（昭和41年12月7日）

- 市民会議第1号誕生（青少年育成庄原市民会議）（昭和42年3月8日）
- 「家庭の日」地方推進大会  
各地方推進大会は2月10日の豊田郡を皮切りに県内19カ所（参加人員7,110人）で開催、「家庭の日」の推進を決議

## 内外の動き（暦年）

- ビートルズ来日
- 敬老の日・体育の日制定
- 中国で文化大革命始まる

## 昭和 42 年度

- 青少年育成広島県民会議事務局開設（広島県青少年対策室内）（昭和 42 年 4 月 1 日）
- 「家庭の日」普及状況調査 県内公立小中学校を対象に調査を実施（普及率 37%）
- 勤労青少年学習交流会を開催

- 公害対策基本法公布

## 昭和 43 年度

- 財源部会を設置（昭和 45 年度まで継続）
- 広島婦人少年室と共催で家庭生活文の表彰を実施
- 勤労青少年「いこいの家」制度を設け県内 13 世帯に委嘱
- 家庭生活文「わが家の家庭の日」を募集（725 点応募）
- 社会環境浄化懇談会を県内 10 カ所において開催

- 3 億円事件
- 大学紛争
- 小笠原諸島返還
- 川端康成ノーベル文学賞受賞

## 昭和 44 年度

- 事務局に専任職員を設置
- 青少年育成広島県民会議総会を開催
- 広島県ユースワーク協議会の結成（11 団体）
- 青年活動部会を設置
- 機関誌「せとのあさ」（命名・題字 皇会長）第 1 号を発行 12,000 部を配布（現在 146 号発行）
- 青少年映面对策懇談会を開催
- 「家庭の日」推進モデル地区を 11 地区指定（昭和 45 年度まで継続）

- 東京大学安田講堂事件
- アポロ 11 号月面着陸

## 昭和 45 年度

- 「1970 年子どもの日」フェスティバルを開催（昭和 50 年度まで継続）
- 広島県少年団体協議会の結成（7 団体）
- 第 1 回勤労青年海外派遣（15 人西独ほか 35 日間）
- 国民運動推進研究協議会を開催
- 青年団体リーダー研修会を開催

- 日本万国博覧会開催（大阪）
- よど号ハイジャック事件
- 日本の人口 1 億人に

## 昭和 46 年度

- 財源部会を廃止し組織部会を設置
- 「青少年育成モデル地区実施要綱」を制定、2年間継続事業として5地区を指定
- 第1回広島県ユースキャンプを「県民の森」で開催(2泊3日)
- 環境浄化推進広島大会を開催
- 第2回勤労青年海外派遣(12人スウェーデンほか15日間昭和50年度までに6回実施延81人を派遣)
- 「家庭の日」ポスター募集、3,805点応募(昭和47年度を除き昭和50年度まで継続)

- ニクソンショック
- ボウリングブーム
- Gパン流行
- 環境庁設置

## 昭和 47 年度

- 有害環境モニター498人を委嘱
- 郡民会議第1号誕生(青少年育成山県郡民会議)(昭和47年8月25日)
- 「家庭の日」作文募集(829点応募)
- 海外青年受入事業協力(韓国青年、東南アジア青年等)

- 札幌オリンピック開催
- あさま山荘事件
- 沖縄県本土復帰
- 三次市・庄原市で豪雨災害
- グアムから横井庄一さんが帰国

## 昭和 48 年度

- 新推進員設置要綱を制定し、市町村長の推薦により621人の推進員を委嘱
- 「青年の主張」論文募集
- 有害環境モニター活動第1次調査
- 地方活動部会を設定

- 第一次オイルショック
- ノストラダムスの大予言

## 昭和 49 年度

- 国際交流部会設置
- 県民運動推進研究協議会開催(1泊2日)
- 青少年育成広島県民会議地方事務局長会議開催(平成20年度まで継続)
- 「あいさつ運動」提唱推進

- セブン-イレブン1号店が東京の豊洲に開店
- 巨人長嶋茂雄引退
- フィリピンから小野田寛郎さんが帰国

## 昭和 50 年度

- 県内における青少年のための各種施設の紹介書を作成配布
- 「家族の日」に関するポスター募集
- 組織部会を開催、青少年育成広島県民会議 10 周年記念行事、青少年育成広島県民会議会長表彰要綱等審議
- 「青少年とテレビ」に関する懇談会開催(昭和56年度まで継続)

- 沖縄国際海洋博覧会開催
- 広島東洋カープ リーグ初優勝（監督：古葉竹識）・優勝パレード実施

## 昭和 51 年度

- 「家庭の日」提唱 10 年記念作文募集（継続中）
- 青少年育成国民会議主催による中国、四国、九州ブロック推進員研修協議会を江田島青年の家において開催
- アジア、オセアニア、中近東外国青年 46 人を受け入れ交歓
- 青少年育成広島県民会議結成 10 周年記念式典を開催（昭和 51 年 11 月 24 日）

- ロッキード事件
- 戦後生まれが総人口の過半数に

## 昭和 52 年度

- 青少年育成のありかた及び青少年の向かうべき方向を示す「青少年育成の基本指針」を制定（昭和 52 年 6 月 1 日）
- 市町村民会議の結成促進とその活動の活発化を図るため、青少年育成推進体制充実強化対策研究委員会を設置

- 巨人王貞治 ホームラン世界記録（756 本）
- ピンクレディー大人気
- カラオケブーム
- 第1回ひろしまフラワーフェスティバル開催

## 昭和 53 年度

- 「明るい家庭づくり」推進座談会実施地区代表者会議を開催
- 青少年健全育成実践地区大会を県内 2 地区（東広島市、竹原市）で開催（昭和 55 年度まで継続）
- 広島県青少年健全育成条例制定（昭和 54 年 3 月 13 日制定、昭和 54 年 7 月 1 日施行）

- スペースインベーダーゲーム大流行
- 新東京国際空港開港
- ディスコブーム

## 昭和 54 年度

- 地域における青少年育成活動の振興を図るため青少年育成県民運動推進専門員制度を創設
- 国際児童年を記念して県内の中学生を対象にした「少年の主張」広島県大会を開催（継続中）
- 青少年育成県民運動推進協議会を開催(昭和 55 年度まで継続)

- 共通一次試験開始
- 広島東洋カープ 初の日本シリーズ制覇（監督：古葉竹識）

## 昭和 55 年度

- 部会活動の進展を図るため、部会の再編整備を行い、7 部会を 5 部会に統合（勤労対策部会・青少年活動部会・国際交流部会 = 青少年部会）
- 「少年の主張」全国大会（国民会議主催）において、福山市立城東中学校の森 雅子さんが総理府総務長官賞を受賞

- 山口百恵 王貞治引退
- 広島市 政令指定都市へ
- 広島東洋カープ 日本シリーズ連覇（監督：古葉竹識）

## 昭和 56 年度

- 青少年健全育成県民運動推進ブロック別（6 ブロック）会議を開催（昭和 63 年度まで継続）
- 青少年育成県民運動推進員連絡協議会を開催
- 青少年健全育成県民運動推進大会を開催（継続中）

- 神戸ポートアイランド 博覧会
- 千代の富士横綱昇進
- がん死因の第 1 位に

## 昭和 57 年度

- 「少年の主張」全国大会（国民会議主催）において、呉市立両城中学校の竹下 愛さんが文部大臣賞を受賞
- 青少年育成県民総ぐるみ運動啓発資料「たくましい広島っ子の願いを込めて」を小・中学生の全家庭に配布

- 日本航空羽田沖墜落事故
- テレホンカード発行

## 昭和 58 年度

- 昭和 58 年度総会において、会長に広島大学名誉教授 内海 巖 氏、名誉会長に皇 至道 氏を選任（昭和 58 年 5 月 23 日）
- 青少年育成県民総ぐるみ運動啓発資料「豊かな未来に向かってたくましく船出してほしい」を県内小・中学生の全家庭に配布
- 青少年育成地域活動実践事例集第 2 集を刊行



うつみ いわお  
内海 巖会長

- 東京ディズニーランド 開園
- 日本海中部地震 M7.7

## 昭和 59 年度

- 青少年非行防止決起大会を開催
- 国際交流広島綱引大会を県立体育館において開催
- 青少年ボランティアの集いを教育委員会と共催
- 国際青年年、在広外国青年との交流集会を開催

- グリコ・森永事件
- 広島東洋カープ 3 度目の日本シリーズ制覇（監督：古葉竹識）

## 昭和 60 年度

- 国際青年年を記念し「ひろしま若人のつどい」をグリーンピア安浦において開催（参加者 1,800 人）
- 「いじめ」防止啓発資料「親子の心のふれあいを」を中学生のいる全家庭を中心に配布

- 日本専売公社民営化
- 電電公社民営化
- 日航ジャンボ機墜落事故

## 昭和 61 年度

- 結成 20 周年記念式典・昭和 61 年度青少年育成広島県民会議総会の開催（昭和 61 年 6 月 6 日）
- 青少年健全育成県民運動推進ブロック別交流集会開催（大竹市、福山市、三次市）

- 男女雇用機会均等法施行
- ダイアナ妃来日
- 広島東洋カープ リーグ優勝（監督：阿南準郎）
- 広島東洋カープ 山本浩二引退

## 昭和 62 年度

- 昭和 62 年度総会において、会長に藤井 弘茂 氏を選任(昭和 62 年 6 月 3 日)
- 「21 世紀のための友情計画」に係わる青年招へい事業の協力（マレーシア青年 25 名）
- 青少年健全育成県民運動推進ブロック別交流集会開催（呉市、東広島市、千代田町）



ふじい ひろしげ  
藤井 弘茂会長

- 国鉄民営化
- 大韓航空機爆破事件（金賢姫）

## 昭和 63 年度

- 青少年育成広島県民会議活性化検討委員会設置（8 名）
- 昭和 63 年度「東南アジア青年の家」事業（総務庁主催）に係わる広島訪問プログラムを担当（東南アジア青年 39 名）
- 在広外国青年と県内青少年の交流事業の実施（100 名）

- リクルート事件
- 青函トンネル開通
- 東京ドームオープン
- 瀬戸大橋開通

## 昭和 64 年／平成元年度

- 「21 世紀のための友情計画」に係わる青年招へい事業共催（シンガポール 20 名）
- 四川省青年代表団受入れ事業（8 名）
- 青少年健全育成地域スクラム事業（県内 20 地区）

- 昭和天皇崩御
- 消費税導入
- 天安門事件
- ベルリンの壁崩壊
- '89 海と島の博覧会ひろしま開催

## 平成2年度

- 県民会議法人化検討委員会設置（平成2年4月～5月）
- 社団法人設立総会開催（平成2年6月20日）
- 会長に前広島大学長 沖原 豊 氏を選任
- 青年海外派遣事業（県からの受託）派遣先 大韓民国（33名）



おきはら ゆたか  
沖原 豊会長

- 秋山豊寛氏日本人初の宇宙飛行

## 平成3年度

- 「広島県青少年育成基金」を設立し、募金活動の開始  
基金の目標額5億円、期間：平成3年～7年の5か年計画
- 青少年健全育成地域スクラム事業の実施（10地区）
- 青少年育成協力店運動の実施
- 青少年の自主活動促進を図るため青春フォーラム事業の実施（平成7年度まで継続）

- バブル経済崩壊
- 湾岸戦争勃発
- 雲仙普賢岳大火砕流
- 広島東洋カープリーグ優勝（監督：山本浩二）

## 平成4年度

- 基金活用事業として、青春フォーラム事業、「青少年の日」推進事業、青少年指導者派遣事業の実施
- 広島県青少年育成基金の募金資料作成と募金活動
- 「青少年の日」（毎月17日）の啓発と「声かけ運動」を推進する（継続中）
- 「青少年の日」の幟旗、ポールを作成し、市町村民会議等へ配布

- 育児休業法施行
- 国際平和協力法（PKO）公布
- カンボジアに自衛隊派遣
- Jリーグ創設 プロサッカーチーム「サンフレッチェ広島」結成

## 平成5年度

- 青少年育成基金の本格的募集活動の開始
- 県地方事務局連絡会議の開催
- 基金活用事業として、青少年ボランティア活動指導者研修事業、青少年アドバイザー養成支援事業を開始
- 「家庭の日」の図画・作文入賞者の知事表彰を開始（継続中）

- Jリーグ開幕
- ポケベル普及
- 山陽自動車道広島県内全通
- 新広島空港開港

## 平成6年度

- 広島アジア大会と国際家族年を記念して開催されたアジア10か国の絵画展の共催
- タイ王国青年の招へい（8名）

- 松本サリン事件
- 平成米騒動
- 関西国際空港開港
- 広島市で第12回アジア競技大会開催
- サンフレッチェ広島初優勝（監督：バクスター）

## 平成7年度

- 県民会議活性検討会議を設置し、県民運動の理念、目的、将来の方向性等について検討（平成7年7月23日）
- 青少年育成県民運動の活性化について答申
- タイ王国へ青年を派遣（10名）
- 「家族の日」の全国絵画展（国民会議主催）で、川尻小学校の中下郁美さんが最優秀賞を受賞
- 「いじめ」をなくすための緊急アピール、テレクラ問題に対する緊急決議採択
- 青春フォーラムを府中市で開催

- 地下鉄サリン事件
- 阪神・淡路大震災 M7.3

## 平成8年度

- 県民会議30周年記念事業実行委員会の設置と計画策定
- 第8回総会において、会長に広島県児童福祉審議会委員長 開原 真弓氏、名誉会長に沖原 豊氏を選任（平成8年6月11日）
- 青少年育成広島県民会議結成30周年記念大会を広島県民文化センターにおいて開催し、渡辺 和子氏をお招きして「優しいことは強いこと」を講演（平成8年11月7日）



かいばら まゆみ  
開原 真弓会長

- O-157 集団食中毒
- 携帯電話の普及
- 広島で第51回国民体育大会開催
- 「原爆ドーム」「厳島神社」がユネスコ世界遺産に登録
- 第1回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会開催

## 平成9年度

- 地域懇談会を県内4地区（福山、三原、広島、三次）で開催
- 青少年育成県民運動推進大会を広島市南区民文化センターにおいて開催し、土井 利樹 氏をお招きして「生きる力を育てる家庭、地域の役割」を講演

- 神戸連続児童殺傷事件
- 消費税増税（5%）
- ダイアナ妃交通事故死
- 山一証券破綻
- 広島市でグリーンフェスタひろしま'97開催

## 平成10年度

- 地域ネットワーク会議を県内2地区（三次、福山）で開催
- 第10回臨時総会を広島市青少年センターにおいて開催  
会長に上田 宗岡 氏を選任（平成10年11月16日）
- 青少年育成県民運動推進大会を広島市青少年センターにおいて開催し、安原 一樹 氏をお招きして「大人が変われば、子どもも変わる」を講演



上田 宗岡会長

- 兄弟横綱初誕生（若乃花・貴乃花）
- 和歌山カレー毒物事件
- 長野オリンピック開催

## 平成11年度

- 青少年育成県民運動推進大会を広島市西区民文化センターにおいて開催し、二宮 皓 氏をお招きして「明日の社会の子どもたち」を講演

- 東名高速飲酒運転事故
- 瀬戸内しまなみ海道開通

## 平成12年度

- 青少年育成県民運動推進大会を広島市青少年センターにおいて開催し、塩川 秀敏 氏をお招きして「青少年を育てるために、今、何が必要か」を講演

- 鳥取県西部地震 M7.3
- 第15回国民文化祭（ひろしま2000）開催

## 平成 13 年度

- 青少年育成とらい・やる 21 事業を実施（平成 15 年度までの 3 年間実施し、合計 21 市町村で実施した）
- 青少年育成地域活動日「ゆーすふるサンデー」の活動を開始（継続中）



平成 13 年度とらい・やる 21 事業  
廿日市中学校（廿日市市）「廿日市ソーラン」

- ※「ゆーすふるサンデー」とは  
県民会議、県、県教育委員会、  
県警察本部が、平成 11 年 2 月に提唱した「青少年育成地域活動日」（7 月第 3 日曜日－若者の・元気な・人に役立つ地域活動日）の愛称。大人と青少年が共同で地域活動を行い、お互いを知り合い、声のかけあえる関係を築き、地域社会全体で青少年を育成していく“きっかけ”の日。
- 青少年育成県民運動推進大会を広島市西区民文化センターにおいて開催し、上田 宗岡 会長が「日本人の心の有様と文化創造」について講演

- ユニバーサルスタジオ  
ジャパン開園
- 東京ディズニーシー開園
- 芸予地震 M6.7
- 狂牛病
- アメリカで同時多発テロ
- 2001 ねんりんピック  
広島開催

## 平成 14 年度

- 平成 13 年度に公募し、決定したマスコット「ゆっぴー」の活用（継続中）
- 青少年育成県民運動推進大会を広島市青少年センターにおいて開催し、岡村 精二 氏をお招きして「大きな夢を実現できる子を育てる」を講演

- 北朝鮮拉致被害者 5 人  
帰国
- ヨーロッパで統一通貨  
ユーロの流通始まる
- スポレク広島 2002 開催



ゆっぴーを使った啓発ステッカー



平成 14 年度とらい・やる 21 事業  
熊野中学校（熊野町）「組曲・筆まつり唄」

## 平成 15 年度

- とらい・やる研修会をエソール広島で開催
- 青少年と社会環境に関する中国・四国ブロック大会をエソール広島で開催
- 青少年育成県民運動推進大会を中国新聞社ホールにおいて開催し、遠藤 克弥氏をお招きして「青少年を育む地域の開放と連携のあり方」を講演



平成 15 年度とらい・やる21事業  
美土里中学校（安芸高田市）「美土里中神楽」

- SARS 世界流行
- 振り込め詐欺
- 平成の大合併

## 平成 16 年度

- 夢配達人プロジェクト推進事業始動（平成 27 年実施まで継続）
- 子どもネットウィーク事業を始め、RCC ラジオにて年間 52 回の番組を放送
- 青少年育成県民運動推進大会を広島市西区民文化センターにおいて開催し、藤岡 弘、氏をお招きして「大人が変われば、子どもも変わる」を講演。

- イラク自衛隊派遣
- 鳥インフルエンザ流行
- 新潟県中越地震 M6.8

## 平成 17 年度

- 子どもネットウィーク事業を継続。RCC ラジオにて年間 53 回の番組を放送
- 青少年育成県民運動推進大会を広島市西区民文化センターにおいて開催し、大久保 慧氏をお招きして「青少年に夢と希望を」を講演



平成 17 年度夢配達人プロジェクト  
荘野小学校（竹原市）トロッコを作り、旧可部線に走らせ、みんなで乗りたい

- 福知山線脱線事故
- 耐震偽装問題

## 平成 18 年度

- 子どもネットワーク事業を継続。RCC ラジオにて年間 52 回の番組を放送
- あいさつ声かけソング「みんなの笑顔が宝もの」を制作（作詞 / (社) 青少年育成広島県民会議 作曲 / 魚住 恵)
- 青少年育成県民運動推進大会 県民会議設立 40 周年記念大会を広島アステールプラザにおいて開催し、金 美齡 氏をお招きして「日本が子どもたちに教えなかったこと」を講演（平成 18 年 11 月 5 日）



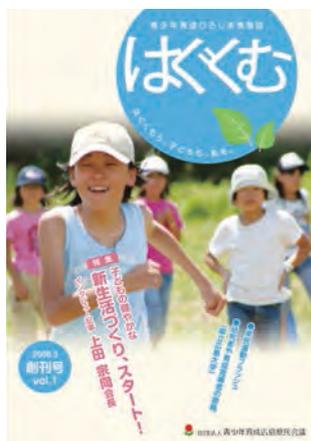
平成 18 年度夢配達人プロジェクト  
鞆小学校（福山市）木造船を作り、鞆の港に浮かべて乗ってみたい

- 豪雪
- 福岡中道大橋飲酒運転事故

## 平成 19 年度

- 子どもネットワーク事業を継続。RCC ラジオにて年間 13 回の番組を放送
- 公立大学法人県立広島大学・社団法人青少年育成広島県民会議包括協定の調印式を開催（平成 19 年 10 月 16 日）
- 青少年育成カレッジ事業（総合講座、課題別講座、市民講座）（現在継続中）
- 青少年育成県民運動推進大会を広島県民文化センターにおいて開催し、友定 賢治 氏をお招きして「若者ことばとコミュニケーション」を講演
- 「青少年育成ひろしま情報誌はぐくむ」創刊（平成 27 年度第 9 号まで毎年発行）

- 日本郵政公社民営化
- 食品偽装



はぐくむ創刊号



調印式

## 平成 20 年度

- 青少年育成県民運動推進大会を広島県民文化センターにおいて開催し、安原一樹氏をお招きして「大人が変われば、子どもも変わる」を講演
- 公益法人化検討委員会発足（平成 21 年度継続・年間 4 回開催）



平成 20 年度夢配達人プロジェクト  
御調西小学校（尾道市）日本一大きなペットボトルのクリスマスツリーを作りたい

- 中国製冷凍ギョーザ事件
- リーマンショック

## 平成 21 年度

- 青少年育成県民運動推進大会を広島県民文化センターにおいて開催し、藤原和博氏をお招きして「人とつながる力『コミュニケーション力』を高めるために」を講演



平成 21 年度夢配達人プロジェクト  
加計小学校（安芸太田町）名人に手伝ってもらい、巨大万華鏡を作りたい

- 裁判員制度施行
- WBC 日本代表連覇
- マツダスタジアム（新広島市民球場）オープン

## 平成 22 年度

- 第 22 回総会をエソール広島において開催。公益法人化移行に伴う定款変更案の決議（平成 22 年 6 月 15 日）
- 公益社団法人への移行認定申請（平成 22 年 7 月 27 日）
- 青少年育成県民運動推進大会を広島県民文化センターにおいて開催し、若松進一氏をお招きして「まちづくり 人づくり－健全育成は、まちづくりから－」を講演
- 広島県公益認定等審議会から移行認定について答申（平成 22 年 11 月 22 日）
- 公益社団法人認定書受理（平成 23 年 3 月 22 日）



平成 22 年度夢配達人プロジェクト  
油木小学校（神石高原町）神楽のおろちの頭と体を作りたい

- 尖閣諸島中国漁船が巡視船に衝突
- 口蹄疫被害（宮崎）

## 平成 23 年度

- 法務局へ公益社団法人移行登記（平成 23 年 4 月 1 日）
- 広島県へ移行完了届提出（平成 23 年 4 月 8 日）
- 第 23 回総会をエソール広島において開催し、移行認定されたことを報告（平成 23 年 6 月 15 日）
- 青少年育成県民運動推進大会を広島県民文化センターにおいて開催し、武田 美保 氏をお招きして「わたしの家族」を講演



平成 23 年度夢配達人プロジェクト  
玖島小学校（廿日市市）手作りのペープサート（紙人形劇）を通じて、地域を元気にしたい

- 東日本大震災 M9.0
- 東電福島第一原発事故
- タイ大洪水
- 新潟・福島豪雨
- 九州新幹線全通開業

## 平成 24 年度

- 市町民会議ネットワーク研究・交流会を廿日市市において開催
- 青少年育成県民運動推進大会を広島県民文化センターにおいて開催し、生島 ヒロシ 氏をお招きして「努力していれば夢は叶う」を講演

- 東京スカイツリー開業
- 山中教授ノーベル賞受賞（iPS 細胞）
- サンフレッチェ広島 2 度目の優勝・初の年間総合優勝（監督：森保一）



ネットワーク交流会 / スポーツ体験 スリッパ卓球



平成 24 年度夢配達人プロジェクト  
仁方小学校（呉市）災害に役立つ歌やカルタを作りたい

## 平成 25 年度

- 市町民会議ネットワーク研究・交流会を東広島市において開催
- 青少年育成県民運動推進大会を広島県民文化センターにおいて開催し、女優の小林 綾子 氏と作曲家・シンセサイザー演奏の西村 直記 氏をお招きして「～金子みすゞの世界～朗読・コンサート『みんなちがって、みんないい。』」を公演



平成 25 年度夢配達人プロジェクト  
幸崎小学校（三原市）子どもが担げるだんじりを作って祭りで担ぎたい

- 富士山世界遺産登録
- 伊豆大島土石流災害
- サンフレッチェ広島年間総合優勝（監督：森保一）
- プロバスケットボールチーム 広島ドラゴンフライズ創設

## 平成 26 年度

- 市町民会議ネットワーク研究・交流会を福山市において開催
- 青少年育成県民運動推進大会を広島県民文化センターにおいて開催し、ソプラノ歌手 森 美津子 氏、テノール歌手 ジョアッキーノ・ジット 氏、ピアノ伴奏 上杉 智穂 氏をお招きして「ソプラノとテノールの世界～ローマへの誘い～」を公演



平成 26 年度青少年育成県民運動推進大会にて  
オペラコンサート  
「ソプラノとテノールの世界～ローマへの誘い～」



平成 26 年度夢配達人プロジェクト  
大朝小学校（北広島町）大朝を舞台にしたドラマ  
を作りたい

- 消費税増税（8%）
- 広島土砂災害
- 御嶽山噴火

## 平成 27 年度

- 市町民会議ネットワーク研究・交流会を三次市にて開催

※毎年 開催市町村を変えて継続実施中

- 「少年の主張」全国大会（独立行政法人国立青少年教育振興機構主催）において、広島市立国泰寺中学校の藤井 志穂さんが内閣総理大臣賞受賞



広島市立国泰寺中学校 藤井 志穂さん(当時2年生)  
第37回「少年の主張」広島県大会の発表の様子

- 青少年育成県民運動推進大会を広島県民文化センターにおいて開催し、平成 27 年度実現で終了した「夢配達人プロジェクト推進事業」の 10 年間の取り組みから代表 3 校が 4 件の夢の成果を発表（廿日市市立玖島小学校、府中町立府中小学校、福山市立鞆小学校）

- ISIL 日本人拘束・殺害
- 鬼怒川・渋井川決壊（関東・東北豪雨）
- サンフレッチェ広島年間総合優勝（監督：森保一）

## 平成 28 年度

- ひろしまドリームプロジェクト～オリンピックに夢をのせて～を実施

プロバスケットボールチーム「広島ドラゴンフライズ」に協力をいただき、グリーンアリーナ大アリーナにおいて「バスケットボール講習会・実技指導」を開催。また、ミズノフットサルプラザにおいてミズノ指導員、アンジュヴィオレ選手による「フットサル講習会・実技指導」を開催。

- 「少年の主張」全国大会（独立行政法人国立青少年教育振興機構主催）において、広島市立二葉中学校の牟田 悠一郎さんが文部科学大臣賞を受賞
- 青少年育成広島県民運動推進大会 県民会議設立 50 周年記念大会を広島県民文化センターにおいて開催し、記念演奏会として「魚住 りえ & 魚住 恵リーディングコンサート」を公演（平成 28 年 10 月 29 日）



バスケットボール講習会風景



フットサル講習会風景

- 北海道新幹線開業
- 熊本地震 M7.3
- 選挙年齢満 18 歳以上に
- オバマ米大統領広島訪問（現職米大統領として初）
- 第 40 回全国高等学校総合文化祭（2016 ひろしま総文）
- プロバスケットボール B リーグ開幕
- 広島東洋カープ 25 年ぶりのリーグ優勝（監督：緒方孝一）
- 鳥取県中部地震 M6.6

# 青少年育成とらい・やる21事業

## 事業の概要

平成13年度から平成15年度までの3年間、「青少年育成とらい・やる21事業」として、青少年の学びの場・活躍の場づくりを推進しました。この事業は、小・中学生たちが、学校の総合的な学習の時間を活用して、地域の伝統文化の継承や、新しい文化の創造に取り組むものです。3年間で計21市町村を選定し、実施しました。子供たちは、家庭・学校・地域の連携のもと、様々な方々からの支援をいただきながら、太鼓・唄・踊りなどに取り組みました。

## 事業の実績

開始年度	市町名	学校名	主なテーマ
平成13年度	廿日市市	廿日市中学校	廿日市ソーラン
	呉市	阿賀中学校	阿賀中ソーラン
	安芸太田町(加計町)	加計中学校	深山峡太鼓
	東広島市	西条中学校	組曲「西條」
	三原市	宮浦中学校、第三中学校、西小学校、南小学校	三原やっさ
	福山市	鞆中学校、鞆小学校、高島小学校、熊野小学校	大漁節、アイヤ節、はね踊り
	庄原市	庄原中学校	よいとこ音頭(ロックソーラン)
平成14年度	熊野町	熊野中学校	組曲・筆まつり唄
	呉市(安浦町)	安浦中学校	TANTO(安浦たんと節をアレンジしたダンス)
	安芸太田町(筒賀村)	筒賀中学校	龍頭太鼓
	東広島市(安芸津町)	安芸津中学校	安芸津万葉太鼓、御神楽、安芸津音頭
	尾道市	吉和中学校	吉中太鼓
	神石高原町(三和町)	三和中学校、来見小学校、三和小学校、高蓋小学校	三和流星太鼓、三和よさこいソーラン
	庄原市(東城町)	八幡中学校	やわた太鼓、鬼神太鼓
平成15年度	大竹市	大竹中学校	ロックソーランと和太鼓の融合
	呉市(音戸町)	音戸中学校	組曲・潮流(清盛太鼓、音戸の舟歌)
	安芸高田市(美土里町)	美土里中学校	美土里中神楽
	大崎上島町	大崎中学校、東野中学校、木江中学校	なぎ太鼓、海鳴り太鼓、神峯太鼓
	尾道市(因島市)	土生中学校	村上水軍陣太鼓、村上水軍跳楽舞
	府中市	第二中学校	ロックソーラン、和太鼓
	三次市(三良坂町)	三良坂中学校	沖江田楽

市町名欄の( )は旧市町村名

# 夢配達人プロジェクト推進事業

## 事業の概要

県内の小学生から夢を募集し、その中から選ばれた夢の実現に向けて、子供達と地域の人たちが夢配達人（夢の実現をサポートする専門家など）と一緒に活動を支援しました。選ばれた夢は、実現を応援してくれる地域の人たちと一緒にチーム（実行委員会）を作り、取り組みます。平成17年度から平成26年度までの10年間で合計77件の夢を採択し実現しました。

## 事業の実績

実施年度	市町名	所属	学年	夢の概要
平成17年度実現の夢 (平成16年度採択)	広島市	五日市南小学校	6	地域の人みんなで八幡川をきれいにし、泳げる川にしたい。
	竹原市	荘野小学校	5	学校と地域の人に手伝ってもらってトロッコを作り、旧可部線に走らせ、みんなで乗りたい。
	三原市 (本郷町)	南方小学校	5	テレビ局の人に手伝ってもらって、一生の宝になるテレビ番組を作りたい。
	福山市 (神辺町)	道上地区 子ども育成会	3	芸術家に手伝ってもらって、飛行機に平和のあかし"鶴"を描きたい。
	庄原市	高南小学校	6	専門家に手伝ってもらって、蛍がすむビオトープをつくりたい。
	東広島市 (黒瀬町)	中黒瀬小学校	5	画家に手伝ってもらって、町の中心に、記念に残る夢時計を作りたい。
	東広島市 (安芸津町)	安芸津町児童館 「子どもの家」	3	マギー審司さんに手伝ってもらって、手品を身に付け、地域のお年寄り達を喜ばせたい。
	世羅町 (甲山町)	宇津戸小学校	6	写真家やイラストレーターに手伝ってもらって、甲山町の思い出パンフレットを作りたい。
平成18年度実現の (平成17年度採択)	広島市	神崎小学校	4	専門家に手伝ってもらって、粘土を動かして作るアニメを作り、アニメーションフェスティバルに出したい。
	呉市	蒲刈小学校	3	専門家に手伝ってもらって、ロボットの作り方を習いたい。
	福山市	鞆小学校	5	船大工さんに手伝ってもらって、木造船を作り、鞆の港に浮かべて乗ってみたい。
	府中市	南小学校	5	戸田拓夫さん（日本折り紙ヒコーキ協会会長）に手伝ってもらって、世界最大の紙飛行機を作りたい。
	三次市	作木小学校	5	家作りの専門家に手伝ってもらって、作木の木でカヌー公園の近くに子どもの国を作りたい。
	廿日市市	地御前小学校	5	考古学の専門家に手伝ってもらって、クラス全員で協力し、遺跡の発掘を手伝いたい。
	安芸高田市	刈田小学校	5	卒業生のケミストリーの堂珍さん（歌手）に手伝ってもらって、世界に一つだけの歌を作りたい。
	府中町	府中東小学校	6	絵の上手な人に手伝ってもらって、安全・環境に関するおもしろい看板を作りたい。
平成20年度実現の (平成19年度採択)	広島市	広島中央特別支援 学校小学部	6	登山家に手伝ってもらい、山(大山)に登りたい。全盲なのでリードしてもらいたい。
	尾道市	御調西小学校	4	ペットボトルを用いて日本一大きなクリスマスツリーを作りたい。
	庄原市	峰田小学校	4	児童作家に手伝ってもらい、地球温暖化の真実を知ってもらうための本を作りたい。
	大竹市	大竹小学校	4	バンブーオーケストラのプロに手伝ってもらい、バンブーオーケストラを編成したい。
	廿日市市	宮園小学校	5	脚本家・歌・ダンスの先生に手伝ってもらい、学校生活を題材にしたミュージカルを作りたい。

市町名欄の（ ）は旧市町村名

実施年度	市町名	所属	学年	夢の概要
平成20年度実現の夢 (平成19年度採択)	北広島町	南方小学校	4	花作り名人に手伝ってもらい、花畑迷路を作りたい。
	世羅町	中央小学校	4	ピオトープ作りの名人に手伝ってもらい、地域の魚(タモロコ)等を保護するため、校庭に「ピオトープ・ドリーム」を作りたい。
	神石高原町	二幸小学校	4	絵本作家に手伝ってもらい、神石高原町を舞台にした絵本を作りたい。
平成21年度実現の夢 (平成20年度採択)	広島市	宇品東小学校	4	手話を教えてもらい、耳の聞こえない人や地域の人に、手話で紙芝居や劇をしたい。
	三原市	須波小学校	6	田んぼ名人に手伝ってもらい皆で田んぼを作りたい。
	福山市	樹徳小学校	6	プロのオーケストラに手伝ってもらい、オーケストラとプラスバンドで演奏するという夢をかなえたい。
	東広島市	三ツ城小学校	5	たこ作り名人に手伝ってもらって、みんなで日本一でかいたこを作って、たこあげをしたい。
	熊野町	熊野第四小学校	6	小学校の体育館にプラネタリウムを作りたい。
	安芸太田町	加計小学校	6	万華鏡作りの名人に手伝ってもらい巨大万華鏡を作りたい。
	北広島町	雲月小学校	5	カメラマンに手伝ってもらい雲月山の植物の写真集を作りたい。
	大崎上島町	東野小学校	6	踊り名人に手伝ってもらい、町内の3小学校と、来春統合する中学の生徒全員が踊れるような踊りを作りたい。
平成22年度実現の夢 (平成21年度採択)	広島市	東浄小学校	3	大きな平和花壇を作りたい。
	福山市	山野小学校	5・6	山野を元気にするために、山野のよさをPRするテレビ番組か山野のプロモーションDVDを作りたい。
	大竹市	穂仁原小学校	4	トランペットを吹けるようになって、地域と学校で行うふれあい祭りでお年寄りから小さい子どもたちに聞かせたい
	東広島市	平岩小学校	5	チャイルドライフスペシャリストに手伝ってもらい、検査や治療のために苦痛を我慢している子どもたちを元気づけ、病気に立ち向かう勇気を与えたい。
	江田島市	江田島小学校	2	しかけ絵本を作りたい。
	府中町	府中小学校	6	被爆者に原爆の様子を聞いて、それを基に作曲家と一緒に歌を作って、私たちが歌いたい。
	海田町	海田小学校	4	星博士と海田町に手伝ってもらい、明かりを消して9時くらいに友達と星空を見たい。
	神石高原町	油木小学校	4	神楽のおろちの頭と体を作りたい。
平成23年度実現の夢 (平成22年度採択)	広島市	広島大学附属小学校	5	8月6日に書道パフォーマンスを行い、平和の尊さを伝えたい。
	尾道市	長江小学校	3	稲を育て、その稲わらで大きなしめ縄を作りたい。
	福山市	鞆小学校	5	福山の伝統工芸品である琴を作り、たくさんの人に聞いてもらいたい。
	廿日市市	玖島小学校	2	手作りのペープサート(紙人形劇)を通じて、地域を元気にしたい。
	江田島市	中町小学校	3	江田島の名物を使ったお菓子を作りたい。
	熊野町	熊野第四小学校	4	電池で走る車を作りたい。
	坂町	坂小学校	3	影絵の劇で、みんなに楽しんでもらいたい。
	大崎上島町	東野小学校	5	広島の権伝馬船と長崎のペーロンとで競漕して、大崎上島を平和の島にしたい。
平成24年度実現の夢 (平成23年度採択)	広島市	上安小学校	5	自分の町の模型を作りたい。

実施年度	市町名	所属	学年	夢の概要
平成24年度実現の夢 (平成23年度採択)	呉市	仁方小学校	2	災害に役立つ歌やカルタを作りたい。
	三原市	羽和泉小学校	3	学校を絵にした大きなパズルを作りたい。
	福山市	服部小学校	4	ホテルを観察できる場所を作りたい。
	庄原市	東小学校	4	みんなが笑顔になる言葉でポストカードを作りたい。
	安芸高田市	小田東小学校	2	学校の裏にある公園をきれいにし、虫が住める虫ランドを作りたい。
	安芸高田市	来原小学校	4	田んぼのあぜに芝桜を植えたい。
	坂町	小屋浦小学校	5	服をリメイクしてファッションショーをしたい。
	大崎上島町	木江小学校	5	フェリー乗り場に大崎上島の良さを伝える看板をつくりたい。
	神石高原町	豊松小学校	4	豊松の特産品を使った料理を出すレストランを開きたい。
平成25年度実現の夢 (平成24年度採択)	広島市	五日市東小学校	5	手すき和紙で世界にたった1枚の卒業証書を作りたい。
	広島市	似島小学校	5・6	マスコットキャラクターや料理を作って似島をみんなにPRしたい。
	呉市	宮原小学校	6	金澤翔子さんと一緒に書道をしたい。
	竹原市	竹原小学校	5	JAXAの人と宇宙教室をしてミニロケットを飛ばしたい。
	三原市	幸崎小学校	6	子どもが担げるだんじりを作って、祭りで担ぎたい。
	福山市	多治米小学校	3	福山の民謡や踊りを教えてもらって、備後絣を着てたくさんの方の前で披露したい。
	府中市	明郷小学校	4	廃校になった小学校を1日だけよみがえらせたい。
	東広島市	高美が丘小学校	4	地域の人達と一緒に映画を作りたい。
	海田町	海田東小学校	4	命の大切さを教える絵本を書きたい
	安芸太田町	戸河内小学校	5	地域の人と一緒に山に入り間伐をし、手伝ってもらって、鉛筆や遊具を作りたい。
平成26年度実現の夢 (平成25年度採択)	広島市	段原小学校	5	みんなに手伝ってもらって、広島食材を使ったお寿司を作りたい。
	広島市	可部南小学校	4	自分たちで米を作り、その稲わらでぞうりを作りたい。
	福山市	緑丘小学校	6	巨大イルミネーションを作って、地域のみなさんへ感謝のメッセージを伝えたい。
	福山市	松永小学校	3	地域や学校の人達と一緒に昔の塩づくりの方法で松永の塩を作りたい。
	三次市	八幡小学校	4	専門家に手伝ってもらって、地域にある滝をきれいにし探検したい。
	大竹市	小方小学校	6	島の人達ともちつき大会をして、交流したい。
	東広島市	三永小学校	3	レゴブロックで厳島神社や原爆ドームを本物そっくりに作りたい。
	廿日市市	阿品台西小学校	6	学校のシンボルツリー「双けやき」の絵本を作りたい。
	北広島町	大朝小学校	5	大朝を舞台にしたドラマを作りたい。

# 市区町民会議活動紹介

## 広島市青少年健全育成連絡協議会

広島市青少年健全育成連絡協議会では、広島市、広島市教育委員会と共催し、毎年11月、家庭、学校、地域社会及び行政が一体となった市民総ぐるみの青少年健全育成活動を推進し、市民意識の啓発を図ることを目的として、「広島市青少年健全育成市民大会」を開催しています。同大会では、青少年健全育成功労者等の表彰や「青少年からのメッセージ」入選者表彰及び金賞作品の発表を始め、各地区での活動事例の発表や講演会などを行い、600人を超える参加者は、市民が心一つにし、将来を担う青少年の育成に取り組んでいく思いを新たにします。



市民大会で挨拶する松井広島市長

## 中区青少年健全育成連絡協議会

**【あぶないよマップ】を作りました。**

～「地域の子どもは、地域で守り育てる」～

中区中島地区の青少協では、子ども会と青少年指導員が、子どもたちと一緒に実際に地域を回って、危険と思われる場所の写真を撮り、マップに貼り付けて「あぶないよマップ」を作成しました。そして、子供たちに問題が起きそうな場所を実際に確認させて、自己防犯意識を高め、危険予知能力を高めるため、そのマップを活用し、作成したみんなで地域の方々に説明をしました。



中島小学校体育館において

## 東区青少年健全育成連絡協議会

**「東区青少年健全育成大会」**

～子ども達の声を聴く会～

青少年健全育成大会は、毎年10月に開催しています。平成27年の大会では、小学生の「あいさつで世界を明るく」、中学生の「生徒会長としての経験」、高校生の「いじめについて」など、計10名の発表がありました。幕間を飾って、毎年青少年によるアトラクションがあり、吹奏楽部の演奏、書道パフォーマンス、神楽など担当地区が趣向を凝らします。これからも、青少年の健全育成に取り組む活動を推し進めていきます。



東区民文化センター ホールにて

## 南区青少年健全育成連絡協議会

広島市南区では、広島湾に面する広島港1万トンバースにおいて毎年7月に「広島みなと夢花火大会」が開催され、来場者約44万人を誇る広島を代表する夏の風物詩として定着しています。南区青少年健全育成連絡協議会も地元の行事として思い入れが深く、広島南警察署と協力し、小・中学校、PTA及び地元の各種団体とともに街頭での啓発活動やパトロールを行っています。



合同出陣式の様子

## 西区青少年健全育成連絡協議会

西区青少年健全育成連絡協議会では、PTAや保護司会などの各種団体と連携して、11月の「子供・若者育成支援強調月間」に、青少年健全育成大会（小学生・中学生の声を聴く会）を実施しています。

次代を担う青少年が今何を考えているのか、青少年の意見に耳を傾け、地域、社会、家庭の取り組むべき問題について関係者が考える場を持ち、さらには、これを生かし地域活動を展開し定着させることを目的としています。



広島市立観音中学校体育館にて

## 安佐南区青少年健全育成連絡協議会

広島市安佐南区にあるエディオンスタジアムをホームグラウンドとするサンフレッチェ広島。そのコーチの指導のもとで開催する「サンフレッチェ広島と親子でふれあいサッカー教室」。基礎練習やミニゲームなどサッカーを通じた親子のふれあいを楽しみます。子供達に夢の実現に向けて一生懸命に努力する前向きな姿勢を持ってもらいたいという願いを込めたこの教室は、毎年多くの参加者で賑わっています。



親子でふれあいサッカー教室の様子

## 安佐北区青少年健全育成連絡協議会

### 区内4地区で青少年意見発表大会を開催

広島市安佐北区青少年健全育成連絡協議会は、毎年10月から11月にかけて区内4地区で青少年意見発表大会を開催しています。最も歴史があるのが高陽地区で、今年で30回目となります。その他の安佐地区、可部地区、白木地区もそれに続いています。

意見発表大会は地区内の小学校や中学校、可部地区では高等学校の代表者も加わって、日ごろから感じていることなどについて意見発表するものです。内容は多岐にわたり、毎回、会場に駆け付けた人々を感動させています。



第29回高陽地区青少年発表大会の様子（広島市高陽公民館）

## 安芸区青少年健全育成連絡協議会

安芸区青少年健全育成連絡協議会は、毎年7月の第一日曜日に、世代を越えたふれあいと文化の祭典「安芸区ふれあいフェスティバル」を安芸区民文化センターで開催しています。各地区の子どもから高齢者まで、幅広い世代の出演者が歌、演奏、踊りなどをステージで披露し、最後はお楽しみ抽選会で大いに盛り上がります。この事業のほか、様々な活動を通じて、青少年の健やかな成長のための取り組みを推進しています。



平成27年度安芸区ふれあいフェスティバル  
オープニングでの矢野中学校吹奏楽部の演奏

## 佐伯区青少年健全育成連絡協議会

佐伯区は、例年2月に青少年健全育成大会「子供フェスタ・青少年の思い発表」を開催しています。

子供フェスタは、約10団体の子供がステージで和太鼓・バトン・踊り等を披露するほか、あそびのひろばでは、けん玉・かえっこバザール等の遊びで親子の絆を深めています。

青少年の思い発表は、佐伯区内の中学校10校の代表者が日常生活で感じたこと、将来の夢・希望、悩み等について、自分の思いを言葉で発表する場を提供し、地域社会への参加を促進しています。

青少年が、夢・希望・目標に向かって健やかに取り組むことのできる社会環境をサポートし、明るく住みよい佐伯区を目指して頑張っております。



子供フェスタ・青少年の思い発表  
～佐伯区青少年健全育成大会～

## 呉市青少年補導員連絡協議会

呉市では、「呉の子どもは呉のおとなが守る」という認識に立ち、関係機関や団体等の協力を得て、平成13年に「呉の子どもを守る会議」を組織し、以降「ひろしま教育の日」に合わせた街頭啓発活動や不審者情報等のメール配信等、呉市全体で「子どもたちを守り育てる」取組を推進しています。

なお、青少年育成県民運動については、平成28年度から「呉市青少年補導員連絡協議会」が活動を引き継いでいます。



「ひろしま教育の日」の街頭啓発活動の様子

## 青少年育成竹原市民会議

青少年育成竹原市民会議では平成16年から毎年6月に「少年の主張」竹原市中学生話し方大会を開催し、本年も13回大会を6月11日に協賛6団体、後援12団体で開催することができました。市内4中学校574名の中から選ばれた12名が、社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案、家族との交流や学校での体験から感じたことや意見など、それぞれの主張を力強く発表しました。

本年も審査の結果、竹原市長賞・青少年育成竹原市民会議会長賞・優秀賞・最優秀学校賞をそれぞれ決定して、竹原市長賞を受賞した生徒を青少年育成広島県民会議主催の「少年の主張」中学生話し方大会に推薦しています。



第13回「少年の主張」竹原市中学生話し方大会発表風景

## 青少年育成三原市民会議

青少年育成三原市民会議では、青少年の健全な育成を目指し、様々な事業に取り組んでいます。

特に、11月の子供・若者育成支援強調月間に合わせ、あいさつ・声かけ街頭キャンペーンを実施しています。あいさつ・声かけを通して、コミュニケーションの輪を広げ、時代を担う子供達の健やかな育成を目指しています。



あいさつ・声かけ街頭キャンペーンの様子

## 青少年育成尾道市民会議

### 尾道市青少年健全育成大会開催

尾道市青少年健全育成大会の開催も昨年で第51回を数えました。

この大会は青少年の健全な育成をはかるため、毎年開催しているものです。大会は、青少年健全育成功労者、育成団体並びに「少年を守る店」優良店の表彰、「電子メディアとの付き合い方」標語、青少年健全育成作文優秀作品発表、小学生、中学生各部のアトラクションが行われ、それぞれの参加者や保護者など約500人の来場がありました。



大会のクライマックス、中学生の部のアトラクション「吉中太鼓」

## (公財) 福山市青少年育成事業団

福山市では、県民会議と連携を図りながら、市民会議事業を継続的に行ってきました。とりわけ昨年は第51回を迎えた「福山市青少年育成市民運動推進大会」をはじめ、7月と11月の強調月間において、集中的に諸事業を実施しました。このような市民運動の高まりと地道な取り組みにより、福山市における問題行動少年等の補導検挙した件数は、平成26年から比較すると、20%以上減少するなど、成果として現れています。



第51回福山市青少年育成市民運動推進大会の様子

## 青少年育成府中市民会議

### 活動の継続をねがって

府中市民会議の活動として、発足以来継続しているものに少年少女主張大会があります。今年で36回を迎えますが、近年は小学生4名中学生4名の計8名の発表者による主張大会を実施しています。時代を反映した主張も多く、たくさんの聴衆を集めています。

小・中学校の管理職の先生また担当の先生と連携をより密にすることで子供達の健全育成の一助になればと願っています。



第35回少年少女主張大会の発表者

## 青少年育成三次市民会議

平成19年1月、初めての「青少年育成大会」を開催しました。

当時から不登校いじめなどが大きな事案であり、こうした社会問題を地域・学校・家庭など社会全体で関心を持ち、解決のための糸口を共に考えようという試みからの開催でした。

毎年テーマを決め、地元高校生による意見発表、パネルディスカッションや基調講演を企画し、日頃の思い、将来の夢、生き方等意見交換の場づくりとなっています。

青少年が社会で生き抜くための支援として、こうした活動を継続していきたいと考えています。



第9回青少年育成大会

## 青少年育成庄原市民会議

青少年育成庄原市民会議は、庄原市合併前の各市内町民会議の連合体として平成17年8月に発足しました。

主な活動として市内各支部の活動補助のほか、毎年8月に青少年育成三次市民会議と共同で中学生意見発表大会を開催しています。

中学生意見発表大会では庄原市や三次市から多くの中学生が集い、日常生活や体験したことを通して、伝えたいこと考えていることを発表しあい、相互理解や研鑽を深めています。



前回大会参加者の全体集合写真

## 大竹市青少年育成市民会議

毎年8月に小学生を対象としたキャンプ「野性への挑戦」を本会発足当初から実施しております。自然豊かな場所で、子供達は、3泊4日という時間をどう過ごすか自分達で考えながら生活し、協調性や自立心、責任感を高めています。また、この10年間で3度全国大会に出場した和太鼓チーム「大竹一番太鼓ジュニア“童夢”」や各行事を支える「ジュニアスタッフ ACT」の育成や、伝統行事「ひな流し」「たこあげ大会」を行っております。



野性への挑戦の様子

## 青少年育成東広島市民会議

### 『東広島チャレンジランキング』

毎年11月に開催される「東広島市生涯学習フェスティバル」において、子供から大人まで楽しめるゲームやスポーツにチャレンジする『東広島チャレンジランキング』を実施しています。集中力を必要とする「缶積み」、蹴ったボールのスピードを競う「キックボール速球王」など、身近なものでできるゲームや簡単なスポーツゲームに、親子で挑戦しています。



チャレンジランキングの様子

## 青少年育成廿日市市民会議

### 極楽寺山キャンプ場にて

毎年7月末の土日で、1泊2日のキャンプを行っています。自然の中で、小学生70名、中学生、高校生、大学生、そして市民会議のメンバーの総勢120名の大所帯のキャンプです。

子供達は、いろいろな学校・学年のグループで、2日間のびのびと過ごします。竹で水鉄砲を作ったり、クラフト作りやレクリエーションをしたり、飯盒でご飯を炊いてカレー作りもします。

夜は、広島天文協会の方に教えていただいて星空観察をし、そのあとはおはなしスタジオの方にブラックライトで劇をしてもらうなど、カリキュラムは盛りだくさん。

2日間を終えると、ひと回りもふた回りも大きくなって、ご家庭に帰っていきます。



キャンプ参加者の集合写真

## 青少年育成安芸高田市民会議

安芸高田市民会議では、地元の小中高生による意見発表会や映画上映会、地域の人材による講演を中心に、毎年、青少年育成フェスティバルを開催しています。また最近の活動としては、“心がほっとする”をテーマに子ども達から集まった標語の中から優秀作品をしおりにして、あいさつ運動実施に合わせて表彰する取り組みを行っています。発足後約10年が経過しましたが、地域で温かく子供を見守る機運が高まっています。



地域ぐるみのあいさつ運動で子供も元気に

## 江田島市青少年問題協議会

江田島市青少年問題協議会の構成団体である女性会は、毎年「江田島っ子と心を結ぶ声のかけ合い運動」を実施し、市内をパレード、施設訪問などを行っています。また、「社会を明るくする運動」にも参加しており、日頃から青少年をはじめとする地域の方々への声かけを行っています。「社会を明るくする運動」では、中学生の意見発表を行うなど、青少年健全育成にも取り組んでいます。



女性会による声かけ運動（伝達式の様子）

## 青少年育成府中町民会議

青少年育成府中町民会議は町内会や各種団体から推薦された委員200名によって次のような活動をしています。

こども110番の家・さわやかあいさつ運動・祭りや公園の巡視・家庭の日作文・各種研修会・新春子どもカルタ大会・子ども祭り等。子ども祭りは広島県立安芸府中高等学校からも協力をいただき、世代を超えた交流を持ちながら、昔遊びや工作、餅つきを体験。会場のあちこちから元気な声が響きます。これからも地域の子供もは地域で守り育てるという意識を常に持ち、活動に取り組んでいきます。



子ども祭りの様子

## 青少年育成海田町民会議

青少年育成海田町民会議では、これまで、あいさつ運動に積極的に取り組んできました。街頭での声かけやあいさつ標語の募集、のぼり旗の配布など、学校や関係団体と連携を図りながら事業を行っています。

他にも、地域の子供たちの健やかな成長の一助となるよう、様々な事業を展開していますが、中でも「みんなそろって歌合戦」では、家族や友人、地域の人々とふれあうまたとない機会を提供できました。



みんなそろって歌合戦

## 青少年育成くまの町民会議

### 「ゆーすふるサンデー」について

青少年育成くまの町民会議では、町内各団体や学校、保護者などの協力を得て、青少年健全育成活動に取り組んでいます。

その一環として、広島県が提唱した7月の「青少年育成地域活動日」に合わせ、各小学校の通学路の危険箇所の点検や、通学路のごみ・空き缶などを拾って歩く、「ゆーすふるサンデー」を行っています。通学路を親子で歩くことで、普段気付かなかった危険箇所を見つけ、子ども110番の家を再確認することができます。

これからも心豊かな青少年が育つよう、町全体で子供達を見守っていきます。



ゆーすふるサンデーの様子

## 青少年育成坂町民会議

### 「挨拶で心を結ぶ坂の町・あいさつパレード」 あいさつ運動推進事業

「挨拶は人より先に私から」「おはようの笑顔がうれしい明るい家庭」広報車と横断幕を先頭に毎年5月の第2日曜日、午前10時、坂駅近隣の商業エリアから町民会議総会会場の町民センターまで、老若男女、約700名が女性団体会長の発声を合図に出発、約20分の道程を道行く人に声かけ「あいさつ」が人の気持ちを揺り動かし、よりよい人間関係を築く橋渡しとなるようお願い「あいさつパレード」を開催しています。



あいさつパレードの様子

## 青少年育成安芸太田町民会議

### あきおおたゲームハイキング

平成19年から開催している「あきおおたゲームハイキング」は、今年の3月で10回目を迎えました。

小学生を対象に、町内の自然・文化・歴史を訪ね、郷土史研究会の方から随所で話を聴き、地域を知ることで郷土を愛する心を育みます。また、人気のグラウンドゴルフで多くの仲間との交流を通して、協力することの大切さを学ぶとともに友情の輪を広げます。世代の枠を越えた交流は、よりお互いが理解し合えます。



あきおおたゲームハイキングの集合写真

## 北広島町青少年育成推進協議会

### トムソーヤスピリッツ

「自然の中でおもいっきり遊ぼう」というテーマで町内小学生を対象にしたキャンプがトムソーヤスピリッツです。大学生ボランティアが、川で泳いだり山に登って朝日を見たりと、普段体験できない活動を企画しました。初対面の仲間との交流を不安に思う子もいましたが、2泊3日の大自然での共同生活を通じ、自らの課題を克服し成長につながったようです。北広島の豊かな自然があるからこそ体験できる活動を通じて、町の魅力を再認識することも期待しています。



早朝登山の様子

## 青少年育成大崎上島町民会議

町民会議では、青少年のもつ重要性にかんがみ、次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的とし、町内巡回指導として夏に夜間のパトロール、啓発事業としてパンフレットの配布、3年に一度の講演会等の活動を行っています。小中学校においては、保護者による朝の交通指導、あいさつ運動等の取り組みが行われています。

大崎上島は、瀬戸内海にある自然に囲まれた人口の少ない島です。どこの子かがわかるような環境です。その島の特色を生かし、学校・家庭・地域全体が一丸となって子供達が安心して暮らせる地域づくりをしていきたいと思ひます。



啓発パンフレットを配布している様子

## 青少年育成世羅町民会議

年間の大きな行事として、著名な講師を招聘して研修会を行ってきました。平成27年度は、島根県雲南市を拠点に「10年後に100の若者チャレンジが起こる町をめざす」活動を展開するNPO法人おっちラボ代表理事の矢田明子氏を招き、取り組みの状況等、地域の大人としてしなければならないことを聞きました。それを受けて、参加者がワークショップ形式で話し合い、思いを共有することができました。



27年度研修会の風景

## 青少年育成神石高原町民会議

### 子ども達の安全を守る取り組み

青少年育成神石高原町民会議は、平成16年の合併を期に設立されました。青少年の育成に関する講演会の開催や新1年生への熊避けの鈴の配布等の全町での取り組みとは別に、旧町単位でも活動が行われています。その一つである巡回パトロールは、地区育成会議の役員、地域団体等の協力者と地域安全推進員で、週1回（火曜日）、地域内に3コースを設定し巡回する活動です。登下校の子供達の安全を守ることが地域の安心にもつながっています。

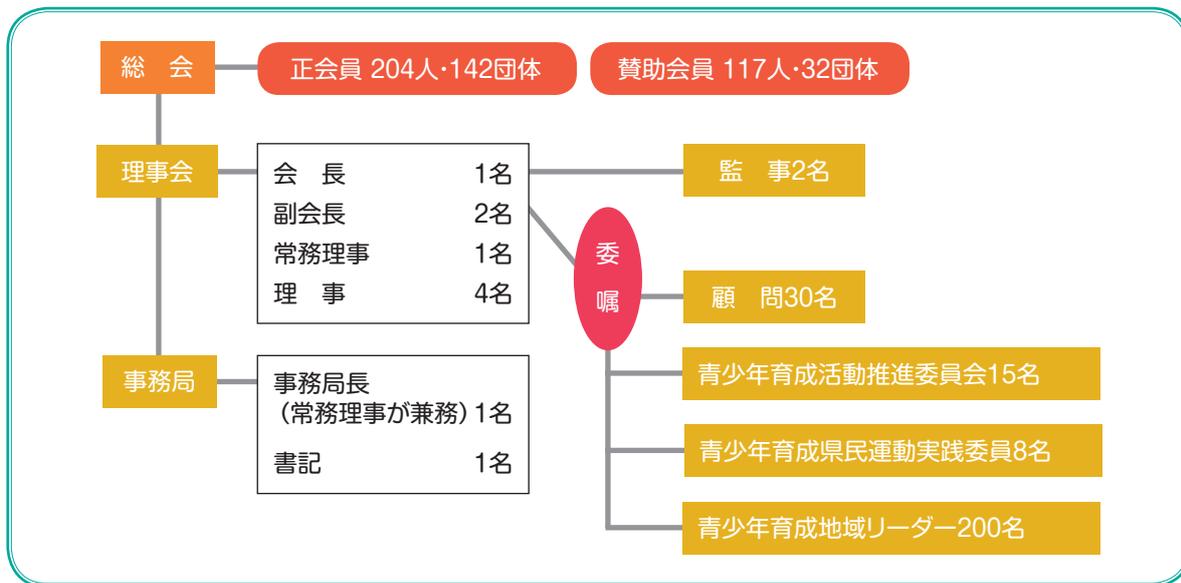


関係団体の皆さんによる巡回パトロール

# 公益社団法人 青少年育成広島県民会議の概要

【組織】

平成28年4月1日現在



## 【協力団体】

広島県青少年育成アドバイザー協議会、青少年育成市区町民会議

## 【会員種別】

### ■正会員 (年会費1口)

個人 3,000円  
団体 5,000円

### ■賛助会員 (年会費1口 何口でも可能です)

個人 1,000円  
団体 10,000円

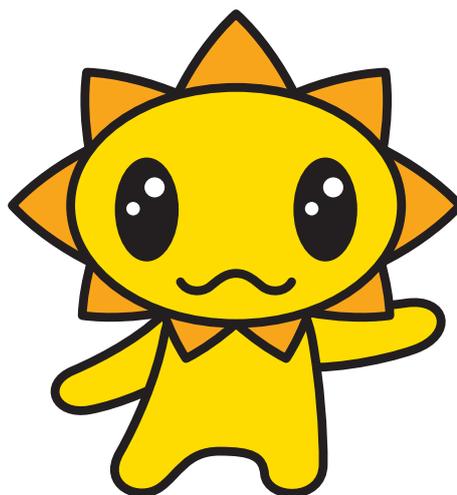
## ゆっぴーの紹介

平成13年度、「ゆーすふるサンデー」の普及・定着を図るため、公募・決定したマスコットが「ゆっぴー」です。

「ゆーすふるサンデー」のPRに活躍することはもちろんですが、広く『広島県の青少年のマスコット』として、青少年の主体的な活動や青少年健全育成活動など県内の各種行事で活躍しています。

### 〈プロフィール〉

愛称 ゆっぴー  
原作者 府中町立府中南小学校 伊勢本 綾香 さん  
すがた 太陽とライオンをモデルに、元気に明るく育つ青少年、地域や人々のあたたかさやつながりをイメージしています  
名前 「ゆーすふる」の「ゆ」に親しみやすい語尾がついて生まれました



広島県の青少年のマスコット  
ゆっぴー

# 平成28年度事業実施報告

# 第28回 定時総会 開催のご報告

## 第28回総会を 広島YMCA国際文化ホールで開催

公益社団法人青少年育成広島県民会議は、平成28年6月15日(水)13:30～15:30に「第28回定時総会」を広島YMCA国際文化ホールで開催しました。

来賓ご臨席のもと、表彰式、報告事項、審議事項、総会決議等が採択されました。

また夢配達人プロジェクト推進事業に応募して採用され平成18年度に木造船を製作した天理大学国際学部3年の岡本和輝さんに「伝統文化との出会いとその後」についてご講演と笙の演奏を披露していただきました。



上田会長

## 青少年育成広島県民会議表彰

優れた行為のあった青少年や地域で自主的な活動を積極的に続けている青少年育成功労者及び団体を、毎年、定時総会で表彰しています。平成28年度の青少年育成広島県民会議表彰を受賞された皆様をご紹介します。



### 青少年育成功労者

市川とも子 (広島市)	和田眞紀枝 (広島市)
應和美津子 (広島市)	栗崎 明人 (三原市)
大石由美子 (広島市)	小林 民子 (三原市)
片岡 功 (広島市)	曾田 栄司 (尾道市)
加藤 暉夫 (広島市)	市川 昌志 (尾道市)
神谷 恵司 (広島市)	大塚 久志 (尾道市)
蔵田 将 (広島市)	京和泉美恵 (尾道市)
坂和 正己 (広島市)	島田 祐司 (尾道市)
清水 健造 (広島市)	麓 博文 (尾道市)
住田由美子 (広島市)	松山智加子 (尾道市)
武田 昭典 (広島市)	柿原 清美 (福山市)
谷村 敏彦 (広島市)	江村 良治 (府中市)
反田 哲顕 (広島市)	西平 孝治 (三次市)
鶴田 和雄 (広島市)	川岡 昭秋 (大竹市)
橋根 康信 (広島市)	川岡 英生 (大竹市)
松葉口義也 (広島市)	川崎マサコ (東広島市)
松原 尚 (広島市)	中川登茂子 (廿日市市)
向井田ミハル (広島市)	平林 環 (廿日市市)
山野 進 (広島市)	塚本 信明 (安芸高田市)
山本喜一郎 (広島市)	高藤 昇 (北広島町)

### 青少年

奥 勇登 (広島市)	砂田 滯奈 (廿日市市)
大川由生子 (東広島市)	寺本 光児 (廿日市市)

### 青少年育成功労団体

五剣会河内支部スポーツ少年団	(広島市)
五月が丘柔道スポーツ少年団	(広島市)
デュオ三木	(福山市)
東広島警察署管内少年補導協助手連絡協議会	(東広島市)
別条亥の子保存会	(坂町)

### 模範活動団体

広島県立忠海高等学校	(竹原市)
三原市民ミュージカル	(三原市)
広島県立日影館高等学校吹奏楽部	(三次市)
坂町立坂中学校陸上競技部	(坂町)
広島県立千代田高等学校生徒会	(北広島町)

(敬称略)

## トーク&コンサート

【演題】「伝統文化との出会いとその後」

【講師】天理大学国際学部3年生 岡本和輝さん

夢配達人プロジェクト推進事業で木造船の製作に取り組んだ経験がその後どのように影響したかを中心に講演していただき、また、笙の演奏も披露していただきました。

### 〈岡本和輝プロフィール〉

平成7年(1995年)福山市生まれ。

青少年育成広島県民会議の夢配達人プロジェクト推進事業に応募して採用され、平成18年度に木造船を製作。その過程で数々の伝統や文化に触れて、より日本の伝統に興味を持つようになる。

現在は、大学へ通いながら、ベース、ギターの他に、モンゴルの馬頭琴、日本の伝統音楽である雅楽の楽器、その他の民族楽器等を演奏する音楽活動をしている。

雅楽では鳳笙と琵琶を演奏し、韓国をはじめとする海外でも公演を行い、国内外の音楽家と共演している。

2016年夏より、1年間アメリカのカリフォルニア州の大学へ留学し、「文化の輸出」に努めている。



## 総会報告

平成27年度事業報告、平成28年度事業計画及び収支予算についての報告、定款の変更、平成27年度決算書、平成27年度監査報告並びに役員を選任の審議が行われ、いずれも承認されました。



### 【総会決議】

平成28年度定時総会決議文を一般社団法人広島青年会議所理事長の高見仁氏が朗読し、採択されました。



総会決議文朗読  
(一社)広島青年会議所理事長 高見仁氏

### 総会決議

「青少年は日本の希望である。」「青少年の非行が大人の生活の反映であるとするれば、青少年の健全育成には、大人の反省なしには実現しないであろう。大人がかつて青少年であったように、青少年はやがて大人になるのである。人間の生涯は、多様な価値観の個性的選択による自己教育の連続であるといえよう。」これは、青少年育成広島県民会議が制定した基本指針です。この理念のもとにそれぞれの時代の課題に向き合いながら50年を歩んでまいりました。

昭和41年の設立当初、私たちは、「家庭の日運動」や「あいさつ・声かけ運動」の推進とともに、シンナー乱用防止、俗悪な広告の追放に取り組みました。その後の社会の生活様式の変化により、インターネットやスマートフォンの使用による被害や依存の問題など青少年を取巻く環境も変化しており、それらに対応した取組が求められています。

設立50周年を迎える今年、選挙権年齢の引下げなど新たな課題も見えてきました。

次代を担う子供たちが夢を持ち、健やかに成長し、未来社会の形成者としての自覚を持ち、社会的に自立した個人として役割と責任を果たしていくための環境づくりは、私たち大人の責務です。家庭や学校、地域が連携して子供たちを温かく見守り、支援していくことが重要になります。

青少年育成広島県民会議は、人と人のコミュニケーションの第一歩である「あいさつ・声かけ運動」を基軸に置きながら、県民総ぐるみ運動の更なる展開を、ここに決議します。

平成28年6月15日

公益社団法人青少年育成広島県民会議第28回総会

# 平成28年度 青少年育成県民運動推進大会 設立50周年記念大会

平成28年度青少年育成県民運動推進大会  
《設立50周年記念大会》  
主催：公益社団法人青少年育成広島県民会議

平成28年10月29日（土）、広島市中区大手町の広島県民文化センターで、青少年育成県民運動推進大会を開催しました。今年度は青少年育成広島県民会議設立50周年を迎えた記念の大会となりました。



## 大会次第

### 【青少年活動発表I】

青少年育成とらい・やる21事業から  
組曲「西條」 東広島市立西条中学校

### 【記念式典】

国歌斉唱  
開会あいさつ （公社）青少年育成広島県民会議会長  
来賓祝辞 広島県知事、広島県議会議長  
表彰 青少年健全育成成功労者等知事表彰  
家庭の日に関する作品の知事表彰  
県民会議設立50周年記念表彰

### 【少年の主張意見発表】

第37回少年の主張広島県大会県知事賞受賞  
第37回少年の主張全国大会内閣総理大臣賞受賞  
「語る思いと聞く思い」  
広島市立国泰寺中学校 3年 藤井 志穂さん

### 【青少年活動発表II】

夢配達人プロジェクト推進事業から  
「大朝を舞台にしたドラマを作りたい」  
北広島町立大朝小学校

### 【記念演奏会】

魚住りえ&魚住恵リーディングコンサート  
第1部 名曲コンサート  
第2部 朗読と演奏による  
宮沢賢治「セロ弾きのゴーシュ」

### 【閉会】

閉会あいさつ （公社）青少年育成広島県民会議副会長

式典では、主催者を代表して、公益社団法人青少年育成広島県民会議 上田宗岡<sup>うえだそうけい</sup>会長が開会のあいさつをしました。続いて、来賓の広島県知事湯崎英彦<sup>ゆざきひでひこ</sup>様、広島県議会議長宇田伸<sup>うだしん</sup>様からご祝辞をいただきました。



上田 宗岡会長あいさつ

広島県知事表彰は、県知事から直接賞状等が手渡されました。永年にわたり青少年の健全育成に力を尽くした方々や団体、模範的な活動を行っている団体、個人を表彰しました。また、県内の小・中学生を対象に「家庭の日」をテーマに作文・図画を募集していますが、今年度は小学校70校、中学校58校から、作文と図画を合わせて2,477点の応募がありました。その中で特選に選ばれた4名が県知事表彰を受賞しました。



湯崎 英彦県知事 祝辞

今年度は設立50周年を記念して「青少年育成広島県民会議50周年記念表彰」も行いました。上田会長から貢献いただいた皆さまに感謝状をお渡ししました。



宇田 伸議長 祝辞

大会の終わりにあたり、（公社）青少年育成広島県民会議の打越<sup>うちこし</sup> 勲<sup>いさお</sup> 副会長があいさつを行い、すべてのプログラムが無事に終了しました。



打越 勲副会長  
閉会あいさつ

## 平成28年度青少年健全育成功労者等知事表彰受賞者

### (青少年健全育成功労者17名)

泉 須美子(大竹市) 岩本 修造(廿日市市) 岡田 光明(広島市) 貝川 順子(尾道市) 佐々木 幸代(安芸太田町)  
 眞田 正一(府中市) 高垣 肥夫(尾道市) 野口 好子(東広島市) 橋本 英樹(広島市) 藤井 健(三次市)  
 藤田 里江(広島市) 船本 えり子(広島市) 前原 俊五(三次市) 増田 豊(廿日市市) 山崎 繁雄(竹原市)  
 山本 政史(広島市) 若林 新三(広島市)

### (育成功労団体6団体)

上條地区獅子舞保存会(坂町) 千田剣道クラブスポーツ少年団(広島市) 西側地区獅子舞保存会(坂町)  
 戸坂空手道スポーツ少年団(広島市) 向原空手スポーツ少年団(安芸高田市) 基町剣道教室スポーツ少年団(広島市)

### (模範青少年1名)

中瀬 雅和(広島市)



## 平成28年度「家庭の日」に関する作品の知事賞受賞者

### (作文の部)

特 選 広島市立翠町小学校 1年 亀岡 昌矢  
 特 選 東広島市立三ツ城小学校 4年 門 香里  
 特 選 広島市立中広中学校 1年 栗栖 こころ

### (図画の部)

特 選 東広島市立小谷小学校 2年 谷本 遼

(注)「家庭の日」作文・図画等の募集には、広島ロータリークラブ、広島南ロータリークラブ、広島東ロータリークラブ、広島東南ロータリークラブ、広島北ロータリークラブ、広島西ロータリークラブ、広島中央ロータリークラブ、広島西南ロータリークラブ、広島陵北ロータリークラブ、広島安芸ロータリークラブ、広島城南ロータリークラブ、広島廿日市ロータリークラブ、広島安佐ロータリークラブから協賛をいただきました。



## 県民会議設立50周年記念表彰

### (個人)

伊勢本 綾香 魚住 恵 山本 名嘉子

### (団体)

公立大学法人県立広島大学 国際ソロブチミスト広島 広島清流ライオンズクラブ 広島県遊技業防犯協会連合会  
 公益財団法人広島青少年文化センター 広島ロータリークラブ 広島南ロータリークラブ 広島東ロータリークラブ  
 広島東南ロータリークラブ 広島北ロータリークラブ 広島西ロータリークラブ 広島中央ロータリークラブ  
 広島西南ロータリークラブ 広島陵北ロータリークラブ 広島安芸ロータリークラブ 広島城南ロータリークラブ  
 広島廿日市ロータリークラブ 広島安佐ロータリークラブ



(50音順、敬称略)

# 青少年活動発表I

## 青少年育成とらい・やる21事業

(平成13年度～平成15年度実施)

東広島市立西条中学校の皆さんによる組曲「西條」を大会のオープニングで発表しました。

東広島市立西条中学校

### 組曲「西條」

西条中学校では、青少年育成広島県民会議とらい・やる21事業をいただき、平成13年度から組曲「西條」に取り組んでまいりました。組曲「西條」は、酒都西條の伝統文化や地域文化の伝承と創造を目指した総合芸術であり、今年の3年生で15代目となります。

組曲「西條」は、蔵人たちに歌い継がれてきた3種類の酒造り唄や地域に伝わる寺西踊り・樽踊りをもとに、4曲で構成された、和太鼓・笛・合唱・吹奏楽・踊りのための作品です。

#### 「露の命」

1曲目は、西条の自然、歴史をイメージした「露の命」。西条の自然や歴史をイメージした曲で、篠笛・宮太鼓・締太鼓・神楽鈴・銅鑼で演奏されます。良い酒ができることを祈願して酒造りにとりかかります。



「露の命」

#### 「粋」

2曲目は、蔵人の酒造りにかける魂を力強く表現した「粋」。蔵人の酒造りにかける魂が込められた、和太鼓を中心とした曲です。米とき唄の部分では、篠笛・歌・踊りが加わり、力強く表現します。



「粋」

#### 「西條酒造り唄」

3曲目は、男声の独唱と合唱が対照的に表れる「西條酒造り唄」。「西條酒造り唄」をもとに作られたアカベラの合唱曲です。男声の独唱と混声合唱が互いに響き合います。

#### 「Festa (フェスタ)」

4曲目は、もつり唄で始まり、華やかに曲を締めくくる「Festa (フェスタ)」。酒ができた喜びを表現した曲です。チャップ・チャンキ・吹奏楽の音色が太鼓や合唱へと広がり、踊りを引き立てます。出演者全員で華やかに締めくくります。

#### 《西条中学校からのメッセージ》

この青少年育成県民運動推進大会、



「Festa (フェスタ)」

設立50周年記念大会という大変大きな舞台で組曲「西條」を発表する機会をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。生徒一同、感謝の思いを込めて精一杯演じることができ、日々積み上げてきた学習の成果が発揮できました。

組曲「西條」はこれまで、西条をはじめ、たくさんの地域の方々にご支援・ご声援をいただいています。組曲「西條」を支えてくださる多くの方々に、少しでも恩返しができたらとの思いで、これまで練習を重ねてきました。組曲「西條」を通して、私たちのふるさと西条を少しでも多くの方々に知っていただくとともに、皆様のふるさとを心に思い描いていただけたら幸いです。

今日の発表を一区切りとし、この組曲「西條」は次の代へと引き継がれていきます。これからも、ふるさと西条への思いを込めて、組曲「西條」の伝承、発展に努めてまいります。今後ともご支援、ご声援をよろしくお願いいたします。

# 青少年活動発表Ⅱ

## 夢配達人プロジェクト推進事業

### (平成25年採択平成26年実現)

北広島町立大朝小学校の皆さんが取り組んだ夢配達人プロジェクト推進事業「大朝を舞台にしたドラマを作りたい」について発表しました。

北広島町立大朝小学校

### ドラマ「わさっこ探偵団 ～大朝の5つの宝さがし～」

推進大会ではドラマのダイジェスト版の上映や制作過程の発表をしました。



「大朝という町は、広島県の北部、北広島町にあります。

自然が豊かで、古い歴史があり、そして温かい町の人たちに見守られながら、私たちは生活しています。

平成25年、わたしたちが大朝小学校5年生の時、「夢配達人プロジェクト」に、私たちの考えた夢を応募しました。

「私たちの住む大朝のことを、たくさんの人に知ってもらいたい。大朝のよさをPRしたい。」という思いから、「大朝を

舞台にしたドラマを作ること」を提案しました。

ドラマの脚本を考えてくださったのは、作家の倉橋耀子さん。大朝小学校の卒業生で、「いちご」や「月が眠る家」などの児童文学を書いておられる有名な作家の方です。

東京から大朝小学校まで何度も足を運んでくださいました。

私たちが作ったドラマには、もう一人の夢配達人、奥野勝利さんも関わっていただきました。奥野さんは、大朝在住で、音楽活動や映像編集をしておられる方です。ドラマの撮影をしたことのない私たちに、カメラを使った撮影の仕方、編集のコツを教えてください、完成したドラマにBGMをつけてくださいました。私たちのアイデアを元にして、倉橋さんに脚本を書いていただき、そして、その脚本を元に、大朝の町を巡り、地域の方々にも出演してもらいながら演技し、撮影していききました。

ドラマ制作とあわせて、ドラマの主題歌も、小学校の先生と一緒に作りました。

このドラマ制作をきっかけに、地域の方と子どもたちが一緒になり、子どもたちが遊べる川を復活させる「川ガキ再生プロジェクト」が始まっています。



#### <あらすじ>

ある日、「わさっ子探偵団」の三人の前に、不思議な少年「しゅんくん」が現れる。その「しゅんくん」の依頼を受けて探するのは、『大朝に眠る五つの宝!』。その宝は、不思議な力をもつ石らしい…。ライバルの「ハンザキ団」と競いながら、わさっ子探偵団の宝探しが始まった!しかし、宝を追い求めていくうちに、メンバーは、「しゅんくん」のことを怪しいと感じ始めた…。「しゅんくん」の話す言葉や行動には何か秘密がありそうだ。わさっ子探偵団が探す『大朝に眠る五つの宝』は本当に見つかるのか?そして、「しゅんくん」の正体とは…!?

## 少年の主張意見発表

第37回少年の主張広島県大会県知事賞受賞

第37回少年の主張全国大会内閣総理大臣賞受賞

「語る思いと聞く思い」 広島市立国泰寺中学校3年 藤井 志穂さん ※受賞時は2年生

昨年開催した第37回少年の主張広島県大会において、広島県知事賞を受賞した広島市立国泰寺中学校2年 藤井 志穂さんが、少年の主張全国大会(平成27年11月8日国立オリンピック記念青少年総合センター)において、内閣総理大臣賞を受賞しました。

広島県から最優秀賞に選出されるのは初めてです。本推進大会で同じ演題で意見発表しました。



本推進大会での発表の様子



少年の主張全国大会の受賞の様子

# 記念演奏会 魚住りえ&魚住恵 リーディングコンサート

## 第1部 名曲コンサート

## 第2部 朗読と演奏による宮沢賢治「セロ弾きのゴーシュ」

第1部は、魚住りえさんの司会によるクラシック名曲コンサート。第2部は、宮沢賢治の名作「セロ弾きのゴーシュ」の朗読と演奏が融合した、詩情豊かな美しい世界をお楽しみいただきました。演奏された曲名は次のとおりです。

### 《第1部》名曲コンサート

ショパン：幻想即興曲  
サン＝サーンス：白鳥  
カザルス：鳥の歌  
J.S.バッハ：ガヴオット  
ブラームス：スケルツォ  
ハイドン：ピアノトリオより「ジプシー風ロンド」



### 《第2部》朗読と演奏による宮沢賢治「セロ弾きのゴーシュ」

ベートーヴェン：交響曲第6番「田園」第1楽章より  
プロコフィエフ：〈つかの間の幻影〉より第1曲  
ショスタコーヴィチ：チェロコンチェルト1番より  
シューマン：〈子供の情景〉より「トロイメライ」  
プロコフィエフ：〈つかの間の幻影〉より第10曲  
ブラームス：子守唄  
プロコフィエフ：〈子どものための音楽〉より「マーチ」  
シューマン：〈子供の情景〉より「見知らぬ国々と人々」  
ポッパー：ハンガリアン・ラブソニー



#### 〈司会・朗読〉

魚住りえ Uozumi Rie  
フリーアナウンサー。ボイス・スピーチデザイナー。  
3歳から広島県で育つ。  
高校時代、数多くのアナウンサーを輩出している  
NHK杯全国高校放送コンテストに出場。朗読部門  
で、全国約5000人の中から第3位に選ばれる。

1995年に日本テレビにアナウンサーとして入社。「所さんの目がテン!」  
「ジパングあさ6」などを担当。

2004年にフリーに転身し、テレビ・ラジオを問わず幅広く活躍中。

また、ボイスデザイナー・スピーチデザイナーとしても活動し、およそ  
30年に渡るアナウンスメント技術を活かし、「魚住式スピーチメソッド」  
を立ち上げ、話し方を磨くための指導を行っている。

著書「たった1日で声まで良くなる話し方の教科書」(東洋経済)が12  
万部を超えるベストセラーとなっている。



#### 〈ピアノ〉

魚住恵 Uozumi Megumi  
エリザベト音楽大学卒業、専攻科修了。'84日仏フ  
ランス音楽コンクールピアノ部門最高位。王立ブ  
リュッセル音楽院上級課程を荣誉賞にて修了。エ  
リザベト音大博士学位取得。

リサイタルや国内外の演奏会に出演。広島交響楽  
団、ルーマニア国立放送室内管弦楽団等と協演。広島県青少年育成  
民運動推進ソング《みんなの笑顔が宝物の》を作曲。魚住りえとの姉妹  
コンサートを企画、広陵高校、広島市西区民センターほか東京都、兵  
庫県で開催し好評を博した。

エリザベト音楽大学、広島文教女子大学講師。池上郁子、對馬寛子、井  
上二葉、J-C.ヴァンドネイド、J. ルヴィエの諸氏に師事。



#### 〈ヴァイオリン〉

甲斐 摩耶 Kai Maya  
東京藝術大学付属音楽高校、東京藝術大学、同大  
学院修了。日本音楽コンクール入選。シブア国際  
ヴァイオリンコンクール第2位。05年よりダルム  
シュタット州立歌劇場、ベートヴェン・オーケスト  
ラ・ボンのコンサートマスターを歴任。08年に帰国

後はオーケストラのゲスト・コンサートマスターや室内楽公演など全  
国各地で活動。また東京藝術大学にて非常勤講師として後進の指導  
にもあたった。現在、エリザベト音楽大学専任講師。



#### 〈チェロ〉

熊澤 雅樹 Kumazawa Masaki  
桐朋学園大学アンサンブル・ディプロマ修了。トロッ  
シンゲン州立音楽大学卒業。第2回東京室内楽コン  
クール第1位。これまでに倉敷音楽祭、宮崎国際音  
楽祭、小澤征爾音楽塾オーケストラ、サイトウ・キネ  
ン・オーケストラ、東京のオペラの森、水戸室内管  
弦楽団などに参加。2010年9月より広島交響楽団チェロ奏者。室内楽  
ではアンサンブル・プレギエラ、エスムス弦楽四重奏団、アンサンブル  
響を主宰し地域に根差した音楽活動を展開している。エリザベト音楽  
大学非常勤講師。

# 「子供・若者育成支援強調月間(11月)」 あいさつ・声かけ運動 街頭啓発キャンペーンの実施について ～あいさつ・声かけ運動の広がりを目指して～

## 1 概要

県内各地で取り組まれている「あいさつ・声かけ運動」の更なる広がりを目指し、子供・若者育成支援強調月間(11月)に、JR広島駅など県内3か所で街頭啓発キャンペーンを行います。

## 2 目的

次代を担う子供・若者が、夢や希望を豊かに育み、心身ともに健やかに成長することは県民すべての願いであり、家庭・学校・地域社会等が一体となり、地域ぐるみで子供・若者を育成することが重要です。

大人が子供・若者と向き合い、理解しあう姿勢を持つことが必要であるという視点から、コミュニケーションの第一歩である「あいさつ・声かけ」の輪を広げ、県民総ぐるみ運動となるよう、重点的にキャンペーンを実施します。

※広島県が行う「広島県麻薬・覚せい剤乱用防止運動」と連携して実施しました



11月2日(水)  
廿日市駅



11月1日(火)  
広島駅



11月4日(金)  
尾道駅

### 家庭で取組んでいただきたいこと

- 基本的な生活習慣としてのあいさつ・声かけの励行  
～おはよう。おやすみ。いただきます。ごちそうさま。いってきます。いってらっしゃい。
- 家族揃って食卓を囲むことの励行  
～食卓を囲むでの会話から、子どもの変化が感じられます。

### 学校で取組んでいただきたいこと

- 登下校時、学校内でのあいさつ・声かけの励行  
～通学路、校門、ホームルーム等
- 保護者に対する啓発活動～通信文、保護者会等を活用して

### 市町等で取組んでいただきたいこと

- 広報紙・会議・集会等での呼びかけ
- 関係機関・団体への協力要請

### 地域で取組んでいただきたいこと

- 登下校時等における声かけの励行～地域で子どもを育てる
- 地域住民が集い、声がかける場づくり～町内会行事・子ども会行事等への積極的参加の呼びかけ

### 事業所で取組んでいただきたいこと

- 店内での声かけの励行～いらっしゃい。お帰り。今日は早いね。早く家に帰ろう。

# 「少年の主張」・中学生話し方大会2016

第38回少年の主張広島県大会 第50回中学生話し方大会

平成28年9月17日(土) エソール広島

中学生が日ごろ思っていることや考えていることを発表しました。

## 第38回少年の主張全国大会において 広島市立二葉中学校2年 牟田 悠一郎さんが 文部科学大臣賞を受賞



広島県大会の出場者の皆さん

第38回少年の主張広島県大会・第50回中学生話し方大会において広島県知事賞を受賞した広島市立二葉中学校2年 牟田 悠一郎 さんが少年の主張全国大会（平成28年11月13日国立オリンピック記念青少年総合センター）において文部科学大臣賞を受賞しました。牟田さんは「戦争を知ること」と題して発表しました。

受賞名	中学校名	氏名	題名
広島県知事賞/少年の主張全国大会 文部科学大臣賞	広島市立二葉中学校	2年 牟田悠一郎	戦争を知ること
公益社団法人青少年育成広島県民会議会長賞	三次市立布野中学校	3年 久敷かな	平和のバトン
広島県中学校話し方連盟会長賞	安芸高田市立向原中学校	3年 新田 希穂	忘れない、そして伝える
国際ソロプチミスト広島会長賞	呉市立昭和中学校	3年 岩井 彩樺	見方を変える
広島清流ライオンズクラブ会長賞	呉市立白岳中学校	3年 東 義樹	部活から学んだこと
優 秀 賞	竹原市立吉名中学校	3年 辰己 萌	命を預かる覚悟
優 秀 賞	広島市立大塚中学校	2年 川本 絵莉	リケジョが普通になる日
優 秀 賞	尾道市立因島南中学校	3年 村川 未来	夢へ向かって
優 秀 賞	北広島町立大朝中学校	2年 植田 すず	ふるさとのやさしさ
優 秀 賞	三次市立十日市中学校	3年 青田 龍生	ボランティアを通して
優 秀 賞	広島市立国泰寺中学校	1年 上田 真央	その小さなことをする勇気を出そう

## 戦争を知ること

広島市立二葉中学校 2年

む た ゆういちろう  
牟田 悠一郎 さん

「あなたは広島に、いつ原子爆弾が落とされたか知っていますか？」テレビからふとそんな言葉が聞こえてきました。僕は「答えられない人なんている訳ないのに何でこんなインタビューしているんだろう。」とっていました。しかしその人たちの受け答えを見て僕は衝撃を受けました。「分かりません」「知りません」そう言って去っていく人ばかりで最後まで答えられた人はほとんどいなかったのです。確かにインタビューが行われていたのは広島県ではありませんでしたが「なぜ過去にあんなに悲惨なことがあったのにこの人達はだれも答えることができないんだろう。」次々に「分からない」と答えていく人達に僕は怒りすら感じていました。

その数日後のことです。たまたまその日の平和学習で原爆が投下された日時<sup>の日時</sup>の質問に僕が答えることになりました。僕はもちろん自信たっぷりに「1945年8月6日午前8時15分です。」と答えました。すると先生は一度頷いてもう一つ質問をしました。「じゃあ長崎は？」僕はそこで止まってしまいました。1945年の8月、というところまでしか分からなかったからです。この前、広島に原子爆弾がいつ落とされたのか、答えられなかった人達に怒りさえおぼえていた自分が恥ずかしくて、広島のことだけを分かって偉そうにしていた今までが情けなくて、胸が苦しくなり僕はうなだれてその場に黙って座ってしまいました。

その日からです。僕は再び広島から、戦争、原爆についてもう一度知りたいと思いました。そこで僕は改めて原爆資料館に行きました。資料館の中はたくさんの人であふれかえっていました。ついこの前、アメリカの現大統領バラク・オバマ氏が広島を訪問したばかりだったからです。展示品を見ている大勢の人達は誰一人笑っていませんでした。最初は笑顔で中に入ってきた人達も、一つまた一つと資料を見ていくたびに顔を強張らせ、真剣な表情へと変わっていくのです。

オバマ氏の広島訪問には様々な意見が出ています。謝罪が無かったという人や、訪問することに意味などあったのか、という人もいます。果たして本当にそうでしょうか。資料館の中で最初は和やかな雰囲気だったグループが急に静かになったのはなぜなのでしょう。資料館に元気良く入っていく子供達がいとも表情を失って出てくるのはなぜなのでしょう。それは、戦争の恐ろしさを原子爆弾の破壊力を「知った」からだと思います。知ること<sup>で</sup>人の心は動き、記憶するのです。確かに広島でのオバマ氏のスピーチは原爆投下についての謝罪もなく、具体性に欠けていたものだったのかもしれませんが。しかしアメリカのトップとして広島を「知る」。この行動こそが大きな意義を持ち、きっとオバマ氏の心も強く揺れ動いたはず<sup>です</sup>。その心は必ずこれからの核兵器廃絶につながると僕は信じています。

僕は祖父から戦争、原爆のことについて話を聞いたことがあります。僕の祖父も被爆者だったからです。原爆により、身体の半分に大火傷を負い皮膚がドロドロになった僕の曾祖父の話、火傷の部分から出てくるウジを祖父が毎日取っていたという話、どれも二度と思い出したくないであろう苦しい出来事、それを僕に一生懸命教えてくれる祖父を見ていると絶対に過去の過ちを繰り返してはならないそう思いました。

僕達には知る義務があります。二度と戦争をしないと誓った国「日本」で生まれたものとして、戦争を、原爆を、知らなければなりません。これが平和への大きな一歩となるはず<sup>です</sup>。そしてそれを後世に未来に伝えていくこと、それが僕達の使命であり責任です。

「あなたは広島に、長崎にいつ原子爆弾が落とされたか知っていますか？」一僕は次にあの遠い夏、長崎で何があったのかを知りたい、今度は仲間とともに。そう思っています。

主催：公益社団法人青少年育成広島県民会議・広島県中学校話し方連盟  
独立行政法人国立青少年教育振興機構

協賛：国際ソロプチミスト広島・広島清流ライオンズクラブ・公益財団法人広島青少年文化センター

# ひろしまドリームプロジェクト ～オリンピックに夢を乗せて～

心身ともにたくましい青少年の育成と基礎体力の向上を目指して、小学生を対象に、プロスポーツ選手等による講習会・実技指導等を開催します。平成32年度までの5年間、毎年2種目のスポーツを選び、県内各地で開催します。

平成28年度は「バスケットボール」と「フットサル」を実施しました。

## 【バスケットボール講習会・実技指導等】

- ・開催日 平成28年8月25日(木) 13:00～16:00
- ・会場 グリーンアリーナ・大アリーナ(広島市中区基町4-1)
- ・指導者 広島ドラゴンフライズ選手・コーチ
- ・対象 広島県内の小学生
- ・参加者 103人
- ・協賛 広島県遊技業防犯協会連合会 株式会社広島ドラゴンフライズ



## 【フットサル講習会・実技指導等】

- ・開催日 平成28年11月12日(土) 13:30～15:30
- ・場所 ミズノフットサルプラザ(広島市西区観音新町4-16-7)
- ・指導者 ミズノスポーツサービスフットサル指導者、アンジュヴィオレ広島(女子サッカーチーム)育成指導者・選手
- ・対象 広島県内の小学生
- ・参加者 29人
- ・協賛 広島県遊技業防犯協会連合会 ミズノスポーツサービス株式会社



# 青少年育成カレッジ「総合講座」

青少年育成広島県民会議では、公立大学法人県立広島大学と連携して、平成19年から「青少年育成カレッジ」を開講しています。青少年の心や行動、生活を多角的に理解し、時代や青少年のニーズに対応した育成・指導ができる青少年指導者等を養成するための総合講座です。今年度は10月1日(土)、11月19日(土)に、サテライトキャンパスひろしま5階 505中講義室(広島市中区大手町一丁目5-3 広島県民文化センター)で行いました。

※詳しくはHPをご覧ください。 <http://www.hiro-payd.or.jp>

## 第1回 平成28年10月1日(土) 「薬物依存」

### ■ 講義Ⅰ 【福祉サイドからの依存症の支援】

**金子 努さん** 県立広島大学 保健福祉学部 人間福祉学科 教授

本講座では、薬物依存の人が地域に生活する一人の人として必要な支援を受け、共生社会を実現していくにはどのような取り組みが必要なのかを考えます。

薬物依存の人の問題を個人の問題として自己責任で片付けるのではなく、社会的な支援を整備することでリカバリーできるという観点で考えます。



### ■ 講義Ⅱ 【薬物から子供を守るには】

**岩井 喜代仁さん** 茨城ダルク 今日一日ハウス 代表

薬物依存症という病気をまず知っていただき、そこからの回復のために茨城ダルクで行っているプログラムを紹介します。

そして、家族が依存者本人と関わる中でおちいりやすい共依存症という病気からの回復についてと、これからの再乱予防対策についてお話しします。

また、これまで学校で行った講演の内容や、生徒からの感想もお伝えします。



## 第2回 平成28年11月19日(土) 「アルコール依存」

### ■ 講義Ⅰ 【アルコールが脳に与える影響とは?】

**藤巻 康一郎さん** 県立広島大学 保健福祉学部 作業療法学科 教授

適量の飲酒は、心身をリラックスさせます。しかしながら、長期大量飲酒は、認知機能を低下させることも知られております。今回は、主にアルコール依存がもたらす脳への影響についてその特徴や具体的な症状の面からお話しします。



### ■ 講義Ⅱ 【中学校における未成年飲酒防止教育への取組】

**保田 みどりさん** 安芸高田市立高宮中学校 養護教諭

未成年の飲酒は依存症を引き起こしやすく、心身の機能への影響や社会的影響が大きいことなどから、未成年への適切な教育を行うことが求められています。

学習指導要領や地域の課題に基づいて本校で実践している未成年飲酒防止教育についての報告を通して、未成年を取り巻く家庭・地域との連携の重要性についても考えていきます。



### ■ 講義Ⅲ 【身近にある薬物としてのアルコール乱用防止教育 ～小学校でのアルコール教育の実際～】

**西 圭司さん** 安芸太田町 保健・医療・福祉統括センター 保健師

**松本 五月さん** 安芸太田町立筒賀小学校 養護教諭

安芸太田町ではアルコール依存症への対策に力を入れています。依存症となった後の断酒活動も非常に大切ですが、健康を損なう前に対策することも重要との観点から小学校からの早期教育を行っていることを報告します。

続いて、小学校でのアルコール学習の様子を紹介し、使用した教材や掲示物を使って模擬保健指導を行います。



### ■ 「認証状」授与式

青少年育成カレッジでは、所定の20単位(1講座1単位)を修得された方に、学習したことを評価して「認証状」を発行しています。

これまでに56名の方が修得されていますが、平成28年度は新たに5名の方が修得されました。



# 社会福祉サイドから考える薬物依存症の人の支援

かねこ つとむ  
金子 努さん

県立広島大学 保健福祉学部 人間福祉学科 教授

## 1 社会的な支援を必要としている依存症の人

薬物依存の人が地域で生活する一人の人として必要な支援を受け、共生社会を実現していくにはどのような取組みが必要なのかを考えます。薬物依存の人の問題を個人の問題として自己責任で片付けるのではなく、社会的な支援を整備することで“リカバリー”できるという観点で考えていくことが重要です。

薬物犯罪の件数自体は全般的に減少傾向にあるものの、芸能人等の検挙が断続的に出現するなどし、社会に与える影響は大きいのが特徴です。また、薬物依存症の人の再犯率は高く、再犯を繰り返しながら社会的孤立状態に陥るのが特徴です。

こうした社会的孤立状態にある薬物依存症の人を、社会福祉サイドでは社会的排除の結果であると捉えます。そして、薬物依存症の人の孤立していく悪循環を断ち切り、社会で共生できるようにしていくためには、医療や福祉などの様々な社会的支援が必要であると捉えます。



## 2 薬物依存症の人の“リカバリー”を考える

薬物依存症は精神疾患です。精神疾患や精神障害を抱えた人の社会生活支援を考えるうえで重要な概念に“リカバリー”があります。“リカバリー”とは、精神障害を含む、生活上の困難を抱えた人自身が、自ら納得する生き方を実現していく主観的なプロセスです。“リカバリー”は、精神障害の人自身の手記や語りを中心に広まってきた概念です。それは、それまでの精神保健システムに対して新たな課題を提起し、従来の支援方法を問いただすきっかけとなったものです(図表1参照)。

つまり、リカバリーとは、他者やサービス等の協力も得ながらその人なりの人生を新たに作りだしていくことを意味しています。

図表1：リカバリーが意味しないもの

厚生労働省障害者保健福祉推進事業報告書所収、資料2ストレングスモデル ワークショップ 抜粋

- |  |
|--|
| ・リカバリーとは、その人がもはや症状を体験しないということの意味するものではありません。           |
| ・リカバリーとは、その人がもはや困難をもつことがないということの意味するものではありません。         |
| ・リカバリーとは、その人がもはや精神保健サービスを利用することはないということの意味するものではありません。 |
| ・リカバリーとは、その人が薬物治療を必要としなくなるということの意味するものではありません。         |
| ・リカバリーとは、その人が自らの全てのニーズを満たす上で完全に自立していることを意味するものではありません。 |

## 3 薬物依存症の人を社会で支える共生社会の実現が私たちに問いかけるもの

薬物依存症の人がリカバリーし、その人なりの人生を再び歩み出すためには、他者である周囲の人や地域の人との関わりが重要になってきます。人間は、他者との関わりの中かで自分の存在する意味や役割を認識し、そこから生きる目標や生きがいをもつことができるのです。生きる目標や生きがいのある人は困難があってもそれと立ち向かい乗り越えていくことができます。

薬物依存症の人を受け止め、“共に暮らす地域社会”をつくるのか、それとも、その人たちを自分とは違う人、迷惑な存在として“排除し続ける地域社会”にするのか、その選択が私たちに問われています。それは、“誰にでも当てはまる生活”の実現か、それとも“その人らしい生活”の実現か、を問うものであります。実は、“誰にでも当てはまる生活”の実現は、当てはまらない人を排除することになるのです。“その人らしい生活”の実現は、人々の多様な生き方を認めるものであり、それこそが共生社会の実現を推進していくものになります。

# アルコールの精神・神経に与える影響

ふじまき こういちろう  
藤巻 康一郎 さん

県立広島大学 保健福祉学部 作業療法学科 教授

## 1 日本のアルコール関連問題の規模

お酒は、適量であればリラックス効果を生み、上司や同僚と酒を酌み交わしながら親交を深めるのに一役買うこともあります。しかし、適量ではなくなったとき、飲酒者自身に悪影響をもたらすだけでなく、家族及び社会に多大な影響を及ぼします。表1を見ると、診断基準を満たすアルコール依存症者は109万人ですので、日本の総人口(特に、年齢3区分別人口の生産年齢人口と老年人口の合計1億900万人)との比率で考えると、その1%は診断を満たすことになります。また表中の多量飲酒者は、上記人口の1割弱を占めることになります。このように、その人口における規模からも分かる通り、厚生労働省科学研究の結果(表2)では、社会的損失は年間4兆1483億円に上ると推計されております。



表1 問題飲酒者に関する推計数(厚生労働省科学研究、2013年調査)

	男性	女性	総計
多量飲酒者 (1日平均60g以上)	785万人	195万人	980万人
ICD-10診断基準による アルコール依存症者	95万人	14万人	109万人

表2 アルコールの社会的コストの推計(厚生労働省科学研究、2012)

社会的損失		年間4兆1483億円
内訳	病気(肝臓病・脳卒中・がんなど)・ けがの治療	1兆226億円
	病気・けがによる労働損失と生産性 の低下などの雇用損失	3兆974億円
	自動車事故・犯罪・社会保障	約283億円

## 2 アルコールと精神・神経

アルコールはアルコール依存症を生み出します。飲酒を続け、耐性・精神依存・身体依存が形成され、飲酒のコントロールができなくなる状態がアルコール依存症です。厚生労働省の患者調査では、アルコール依存症の受診患者数は4万人超で、未受診患者を含めたアルコール依存症者の5%程度と言われており、治療も受けられず症状が悪化している人の数もかなり大きいことが予想されます。また、アルコール依存症にはうつ病の併存例も多く、アルコール依存症者の3割は、うつ病を合併しているという報告もあります。

脳の神経細胞自体へのダメージについての研究はAndersonらによって行われ、マウスの血中アルコール濃度を0.08% (米の酒気帯び基準)に設定し脳の状態を調べたところ、海馬の神経細胞の新生率は、コントロールと比べて約40%も減っていたという結果が報告されております(※1)。

## 3 未成年飲酒

未成年飲酒とアルコール依存症との関係を統計的に調べた研究では、14歳以下からお酒を飲み始めた場合は、20歳以上からお酒を飲み始めた場合と比べ、アルコール依存症になる確率が3倍以上に上がるという報告がされています(※2)。また、若いうちにアルコール依存症になると、治療成績の指標である約1年後の断酒率は15%という数値で、この数値は一般的な断酒率の半分程度となり、加えて若年者の飲酒は、脳の萎縮や第二次性徴の遅れ等のリスクを高めると言われております。以上から言えることは、「お酒は依存性薬物(依存状態になると止めることができなくなる)」を知った上で、上記のアルコールの性質から「飲酒開始は遅い方がよい(20歳を過ぎてから)」を守り適正飲酒を行うことが大切になります。

※1 Anderson M.L., Nokia M.S., Govindaraju K.P., Shors T.J. Moderate drinking? Alcohol consumption significantly decreases neurogenesis in the adult hippocampus. *Neuroscience*. 2012; 224: 202-9.

※2 Grant B.F., Dawson D.A. Age at onset of alcohol use and its association with DSM-IV alcohol abuse and dependence: results from the National Longitudinal Alcohol Epidemiologic Survey. *J Subst Abuse*. 1997;9:103-10.

## 発行によせて

「ゆく河の流れは 絶えずして しかも もとの水にあらず」鴨 長明の「方丈記」の冒頭の一節であります。青少年育成広島県民会議も50年を流れてまいりましたが、もとの水にあらずで青少年問題は常に時代と共に、新しい課題にむきあいながら、県民総ぐるみで運動を展開してまいりました。

半世紀、50年の節目は、まさに「温故知新」（古きをたずねて、新しきを知る）の理念にのって、先陣の歩まれた功績を大切に、そのうえで今からの半世紀、50年にむけて、より確かな方向に進む道筋を求めていくことが、私たちの使命であります。

私たち50周年記念事業実行委員会は、その精神を大切にして、記念大会の開催、記念誌の作成等に全力で事にあたりました。とりわけ記念大会は感動あふるる大会にさせていただき、ご協力いただいた関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。また、この記念誌の編集にあたりましては、事務局職員はもとより実行委員の皆様に並々ならぬご尽力をいただき感謝で一杯であります。

この記念誌がどうか今からの青少年育成活動にしっかり生かされることを切に願いますとともに、今後とも青少年育成広島県民会議の活動にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、皆様のご健勝ご多幸ご発展をお祈りし、記念事業へのご支援にたいするお礼の挨拶とさせていただきます。

平成29年2月

50周年記念事業実行委員会委員長

山内 吉治

〈50周年記念事業実行委員会委員〉

委員長 山内 吉治（県民会議副会長）

副委員長 打越 勲（県民会議副会長）

委員 江種 則貴（県民会議理事）

岸房 康行（県民会議理事）

吉川 水貴（県民会議理事）

福原 治（県民会議理事）

後藤 香代子（推進委員会委員）

高見 仁（推進委員会委員）

内山 幸光（実践委員）

行政 智（実践委員）



せとのあさ ー設立50周年記念号ー

平成29年2月発行 第146号

公益社団法人 青少年育成広島県民会議

〒730-8511 広島市中区基町10-52

広島県環境県民局県民活動課内

TEL.082-513-2742 FAX.082-511-2173

<http://www.hiro-payd.or.jp>

題字／茶道 上田宗箇流  
第十六代家元 上田宗冨